

寺岡オートドア株式会社

基本図

耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き戸

両袖窓付き

防火設備 EB-2052

複合防火設備 CAS-1051

《目 次》

図 名	図番	管理番号	作成日	出図日
表紙	表-1	06KH-56003 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
仕様書（防火設備EB-2052）	仕-1	06KH-56003 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
仕様書（複合防火設備CAS-1051）	仕-2	06KH-56003 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
姿図 平断面図 立断面図	1	06KH-56003 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
平断面詳細図	2	06KH-56003 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
立断面詳細図（開口部）	3	06KH-56003 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
立断面詳細図（袖部）	4	06KH-56003 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5

符号	年月日	担当	訂正事項	品名	寺岡オートドア株式会社					作成日	2019. 3. 11	図番
△	19. 5. 21	田代	誤記修正	耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2052／複合防火設備CAS-1051	承認	検図	製図	設計	縮尺	出図日	2019. 4. 5	表-1
△				図名	和	田	太	田	A3	廃止日		
△				表紙	田	代	田	代	1/1	管理番号	06KH-56003	
△												
△												

仕様書

品名：耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き戸 両袖窓付き

種類：防火設備

認定番号：EB-2052

《各部の寸法》

項 目	寸法範囲
枠外幅 (WW)	2250～4850mm 注1)
枠内幅 (W)	2200～4800mm
開口幅 (WO)	1000～2400mm
枠外高さ (HH)	1980～3000mm
開口高さ (H)	1800～2400mm
扉幅 (DW)	558.5～1258.5mm
扉高さ (DH)	1810～2410mm
扉厚 (DT)	50～70mm
無目見付け (a)	300～600mm 180～600mm ※1
無目見込み (b)	234～494mm
たて枠見付け (c)	25～50mm 注1)
たて枠見込み (d)	240～500mm
扉上框見付け (e)	80～200mm
扉上框見込み (f)	44～65mm
扉下框見付け (g)	115～1000mm
扉下框見込み (h)	44～65mm
扉たて框見付け (i)	100～200mm
幅木見付け (j)	125～1010mm
幅木見込み (k)	44～65mm
方立見付け (l)	60～200mm
方立見込み (m)	65～86mm
扉部窓幅 (GW1)	158.5～1058.5mm
扉部窓高さ (GH1)	590～2195mm
袖部窓幅 (GW2)	400～1140mm
袖部窓高さ (GH2)	790～2275mm

※1 建築基準法上の「延焼の恐れのある部分」で外壁の開口部に設ける防火設備で自動閉鎖装置を必要としない場合の寸法とする。

※2 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によっては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小寸法 参考納まり」を参照すること。△

注1) 枠内幅 (W) が最大寸法でたて枠見付け (c) が25mm以上となると枠外幅 (WW) の最大寸法を超えてしまうので注意

《標準構成材料の仕様》 「仕様」にメーカー名記載の品は試験体で使用した品とし、申請仕様の範囲内の品であればメーカーは問わない

項 目	仕 様
表面材	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：1.5mm以上 [SUS304 SUS430 SUS430J1L SUS433J1 (参考：平成28年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節)]
表面仕上げ	ヘアライン (HL)、鏡面、パイブレーション、ビーズブラスト、カラーステンレス (化学発色) △
補強材1 (方立、上框、たて框、下框) 補強材2 (点検カバー) 補強材3 (無目)	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1.6mm以上
補強材4 (自動ドア装置取付用FB)	一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) 寸法：6mm×50mm以上 間隔：600mm以下
塗装	さび止め塗装 材料：JPM S 28 箇所：補強材1～4、枠つなぎ補強板 (アンカー)、エンジンケース補強 膜厚：100μm以下 無目内塗装 材料：エポキシ樹脂 (JIS K 5531) 箇所：補強材3～4、エンジンケース補強 膜厚：100μm以下 △
枠つなぎ補強板 (アンカー)	材料：鋼板 (めっき処理品) 又は鋼材 厚さ：2.3mm以上 間隔：無目、たて枠450mm以下 又は 通し 幅木300mm以下 又は 通し
耐熱板ガラス	AGC㈱ マイボｰカ FR65C △ 厚さ：6.5mm
セッティングブロック	ステンレス鋼 幅：12mm 高さ：12mm 長さ：60mm クロロブレンゴム 幅12mm 厚さ1.5mm 長さ60mm 数量：各2個 (ガラス1枚あたり) [サッシ工場製作品]
バックアップ材	ハイルンドMP㈱ フラットパッカーHP 寸法：先入れ用6×10mm 後入れ用8×5～15mm
シーリング材	防火戸用指定シーリング材 (参考：東レ㈱ SE5007、MPMJ合同会社 トスシール84)
無目丁番	材質：ステンレス鋼
振れ止め	㈱ワーム R25 (B) L寸法：25mm 数量：4個以下 ◎逆振れ止めも同品
ねじ	キックプレート固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 間隔：300mm以下 △ 押縁固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 間隔：300mm以下 点検カバー固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 無目丁番固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 振れ止め固定用 材質：ステンレス鋼又は鋼材 寸法：M5×35mm以上
自動ドア開閉機構	防火設備用自動ドア装置 台板：H1 自動閉鎖装置：FPS-ⅡA 又は FPS-I-NDC 電気錠：EL-7SN2 ◎コントローラは鉄箱に実装のこと

《あり／なし選択可能な構成材料の仕様》 図面の注釈に (あり又はなし) と表記 / 「仕様」にメーカー名記載の品は試験体で使用した品とし、申請仕様の範囲内の品であればメーカーは問わない

項 目	仕 様
押縁 △	材料：冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 厚さ：1.5mm以上 ◎たて框と一体型の場合なし
ガイドレール 杏摺	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：1.5mm以上 [SUS304 SUS430 SUS430J1L SUS433J1 (参考：平成28年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節)]
エンジンケース補強	材料：鋼材 寸法：L-40×40×5mm以上
トロカパー	材料：鋼材 (めっき処理品) 厚さ：1.6mm以上
キックプレート △	材料：ステンレス鋼板 厚さ：1.5mm以上
無目内蔵センサー用鉄箱	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1.6mm以上
センサー／スイッチ	無目付センサー 無目内蔵センサー 数量：各2個以下 タッチスイッチ (付属両面テープ止め) 数量：4個以下 補助光電センサー 数量：4組以下 ◎補助光電センサーアンプは鉄箱に実装のこと
引手・取手	材質：ステンレス鋼 厚さ：0.5mm以上 数量：4個以下
本締錠	材料：ステンレス鋼板及び鋼板 数量：2個 箇所：下框
気密材1 (戸先部)	ホクショー㈱ HC-23 寸法：扉高さ (DH) ◎接着戸当ゴム (直径φ12以下) 2個以下で代用可
気密材2 (方立部)	ホクショー㈱ GV-4396 寸法：開口高さ (H) ◎専用気密材 (特注品)
気密材3 (上枠部)	ホクショー㈱ HC-3 寸法：開口幅 (WO)
気密材4 (扉下部)	ピンチブロック㈱ #38-PA 寸法：扉幅 (DW)

符号	年月日	担当	訂正事項	品名	寺岡オートドア株式会社				作成日	2019.3.11	図番
△	19.5.21	田代	誤記修正、追記	耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2052／複合防火設備CAS-1051	承認	検図	製図	設計	縮尺	2019.4.5	仕-1
△	21.9.24	太田	追記		和	田	太	田	A3	廃止日	
△				図名					管理番号		
△				仕様書 (防火設備EB-2052)					1/1	06KH-56003	△

仕様書

品名：耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き戸 両袖窓付き／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

種類：複合防火設備

認定番号：CAS-1051

《各部の寸法》

項 目	寸法範囲
枠外幅 (WW)	2250～4850mm 注1)
枠内幅 (W)	2200～4800mm
開口幅 (WO)	1000～2400mm
枠外高さ (HH)	1980～3000mm
開口高さ (H)	1800～2400mm
扉幅 (DW)	558.5～1258.5mm
扉高さ (DH)	1810～2410mm
扉厚 (DT)	50～70mm
無目見付け (a)	300～600mm
無目見込み (b)	234～494mm
たて枠見付け (c)	25～50mm 注1)
たて枠見込み (d)	240～500mm
扉上框見付け (e)	80～200mm
扉上框見込み (f)	44～65mm
扉下框見付け (g)	115～1000mm
扉下框見込み (h)	44～65mm
扉たて框見付け (i)	100～200mm
幅木見付け (j)	125～1010mm
幅木見込み (k)	44～65mm
方立見付け (l)	60～200mm
方立見込み (m)	65～86mm
扉部窓幅 (GW1)	158.5～1058.5mm
扉部窓高さ (GH1)	590～2195mm
袖部窓幅 (GW2)	400～1140mm
袖部窓高さ (GH2)	790～2275mm

※1 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によつては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小W寸法 参考納まり」を参照すること。△

注1) 枠内幅 (W) が最大寸法でたて枠見付け (c) が25mm以上となると枠外幅 (WW) の最大寸法を超えてしまうので注意

《開口面積》

項 目	仕 様
開口面積 (W×H)	4.368注1) ～11.52㎡

注2) 最小Wと最小Hの面積では最小開口面積を下回るので注意

《自動閉鎖装置による閉鎖時の危害防止対策》

項 目	仕 様		
扉質量	150kg/枚以下	100kg/枚以下	50kg/枚以下
閉鎖速度	0.36m/s以下	0.44m/s以下	0.63m/s以下
閉鎖金物閉じ力設定値	117N以下		

《標準構成材料の仕様》 「仕様」にメーカー名記載の品は試験体で使用した品とし、申請仕様の範囲内の品であればメーカーは問わない

項 目	仕 様
表面材	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：1.5mm以上 [SUS304 SUS430 SUS430J1L SUS433J1 （参考：平成28年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節）]
表面仕上げ	ヘアライン (HL)、鏡面、パイブレーション、ビーズブラスト、カラーステンレス（化学発色）△
補強材1（方立、上框、たて框、下框） 補強材2（点検カバー） 補強材3（無目）	溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302） 板厚：1.6mm以上
補強材4（自動ドア装置取付用FB）	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101） 寸法：6mm×50mm以上 間隔：600mm以下
塗装	さび止め塗装 材料：JPMS 28 箇所：補強材1～4、枠つなぎ補強板（アンカー）、エンジンケース補強 膜厚：100μm以下 無目内塗装 材料：エポキシ樹脂（JIS K 5531） 箇所：補強材3～4、エンジンケース補強 膜厚：100μm以下△
枠つなぎ補強板（アンカー）	材料：鋼板（めっき処理品）又は鋼材 厚さ：2.3mm以上 間隔：無目、たて枠450mm以下 又は 通し 幅木300mm以下 又は 通し
耐熱板ガラス	AGC㈱ マイボカ FR65C△ 厚さ：6.5mm
セッティングブロック	ステンレス鋼 幅：12mm 高さ：12mm 長さ：60mm クロロブレンゴム 幅12mm 厚さ1.5mm 長さ60mm 数量：各2個（ガラス1枚あたり）[サッシ工場製作品]
バックアップ材	ハイランドMP㈱ フラットパッカーHP 寸法：先入れ用6×10mm 後入れ用8×5～15mm
シーリング材	防火戸用指定シーリング材（参考：東レ㈱ SE5007、MPMJ合同会社 トスシール84）
無目丁番	材質：ステンレス鋼
振れ止め	㈱ワーム R25 (B) L寸法：25mm 数量：4個以下 ◎逆振れ止めも同品
ねじ	キックプレート固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 間隔：300mm以下△ 押縁固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 間隔：300mm以下 点検カバー固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 無目丁番固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 振れ止め固定用 材質：ステンレス鋼又は鋼材 寸法：M5×35mm以上
気密材1（戸先部）	ホクショー㈱ HC-23 寸法：扉高さ (DH)
気密材2（方立部）	ホクショー㈱ GV-4396 寸法：開口高さ (H) ◎専用気密材（特注品）
気密材3（上枠部）	ホクショー㈱ HC-3 寸法：開口幅 (WO)
気密材4（扉下部）	ピンチブロック㈱ #38-PA 寸法：扉幅 (DW)
自動ドア開閉機構	防火設備用自動ドア装置 台板：H1 自動閉鎖装置：FPS-II A 又は FPS-I -NDC 電気錠：EL-7SN2 ◎コントローラは鉄箱に実装のこと

《あり／なし選択可能な構成材料の仕様》 図面の注釈に（あり又はなし）と表記

項 目	仕 様
押縁 △	材料：冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 厚さ：1.5mm以上 ◎たて框と一体型の場合なし
ガイドレール 杏摺	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：1.5mm以上 [SUS304 SUS430 SUS430J1L SUS433J1 （参考：平成28年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節）]
エンジンケース補強	材料：鋼材 寸法：L-40×40×5mm以上
トロカパー	材料：鋼材（めっき処理品） 厚さ：1.6mm以上
キックプレート △	材料：ステンレス鋼板 厚さ：1.5mm以上
無目内蔵センサー用鉄箱	溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302） 板厚：1.6mm以上
センサー／スイッチ	無目付センサー 無目内蔵センサー 数量：各2個以下 タッチスイッチ（付属両面テープ止め） 数量：4個以下 補助光電センサー 数量：4組以下 ◎補助光電センサーアンプは鉄箱に実装のこと
引手・取手	材質：ステンレス鋼 厚さ：0.5mm以上 数量：4個以下
本締錠	材料：ステンレス鋼板及び鋼板 数量：2個 箇所：下框

符号	年月日	担当	訂正事項	品名 耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2052／複合防火設備CAS-1051 図名 仕様書（複合防火設備CAS-1051）	寺岡オートドア株式会社					作成日	2019.3.11	図番 仕-2		
△	19.5.21	田代	誤記修正、追記		承認	検図	製図	設計	縮尺	出図日	2019.4.5			
△	21.9.24	太田	追記							廃止日				
△										管理番号		06KH-56003		△
△														

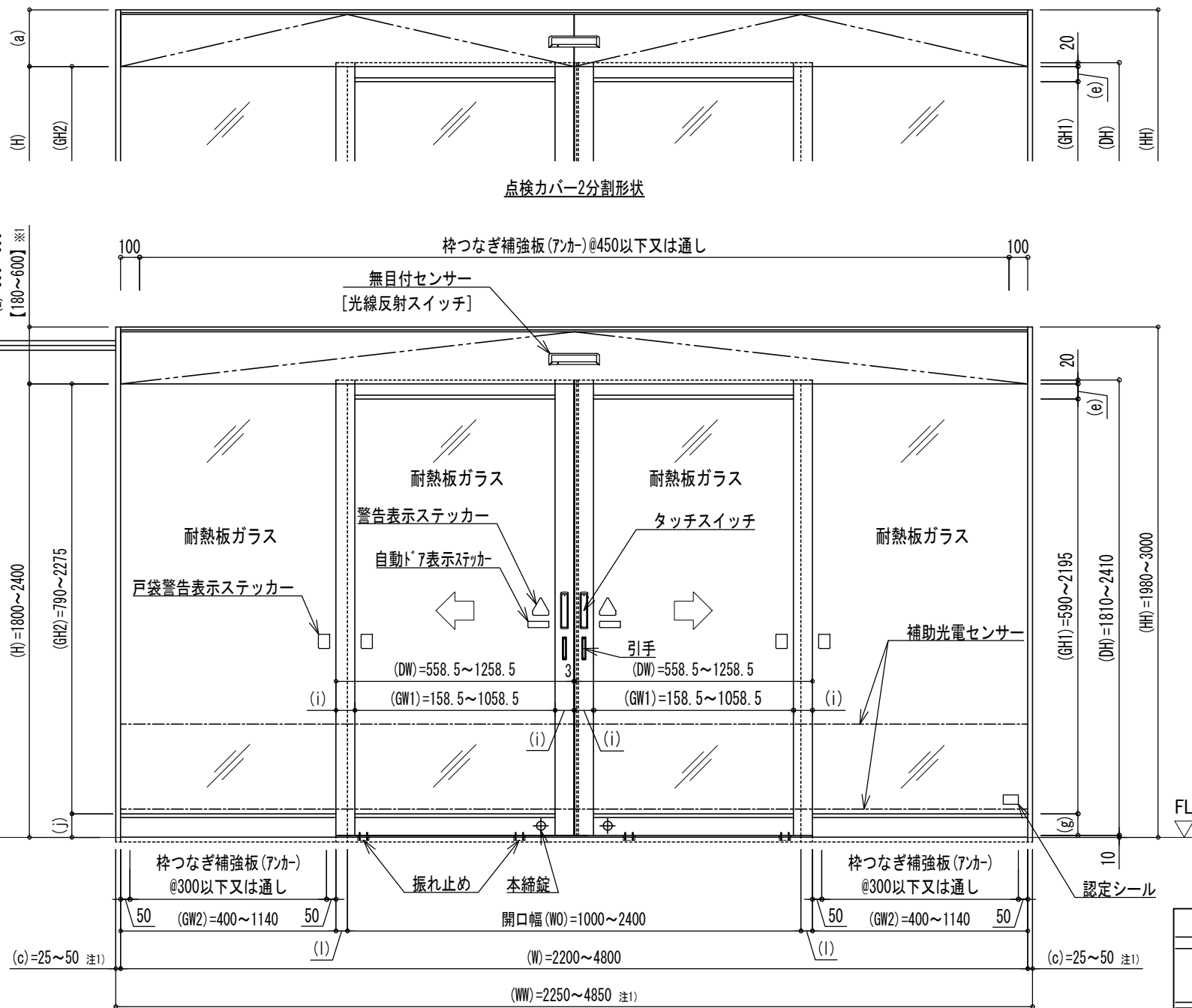
防火戸閉鎖信号
火災時、DC24V 0.1A 2秒以上又は
無電圧接点ON信号 0.5秒以上（別途工事）

自動閉鎖装置用電源
AC100V 1A（別途工事）※2

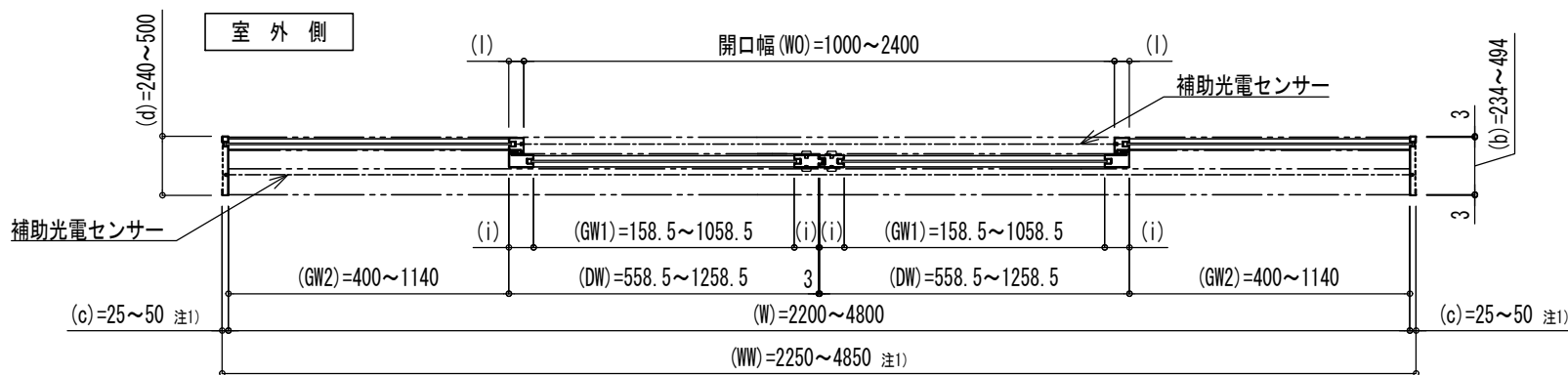
自動ドア用電源 AC100V 5A
D種接地線含む（別途工事）

電源スイッチ
（別途工事）

枠つなぎ補強板（アカー）@450以下又は通し



姿 図



平断面図

符号	年月日	担当	訂正事項
△	19.5.21	田代	誤記修正、追記
△			
△			
△			

品名	耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備CB-2052／複合防火設備CAS-1051
図名	姿図 平断面図 立断面図

寺岡オートドア株式会社				作成日	2019.3.11	図番
				出図日	2019.4.5	
承認	検図	製図	設計	縮尺	廃止日	1
和	田	太	田	A3	管理番号	
				1/30	06KH-56003	

- ※1 【】内の寸法は建築基準法上の「延焼の恐れのある部分」で外壁の開口部に設ける防火設備で自動閉鎖装置を必要としない場合の寸法とする。
- ※2 当該電源の電気配線は他の電気回路に接続しないもので、かつ、配電盤又は分電盤の階別主開閉器の電源側で分岐しているものとする。
(昭和48年建告第2563号)
- ※3 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によっては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小W寸法 参考納まり」を参照すること。△

注1) 枠内幅 (W) が最大寸法でたて枠見付け (c) が25mm以上となると枠外幅 (WW) の最大寸法を超えてしまうので注意

《各部の寸法》

項 目	寸法範囲
扉上框見付け (e)	80~200mm
扉下框見付け (g)	115~1000mm
扉たて框見付け (i)	100~200mm
幅木見付け (j)	125~1010mm
方立見付け (l)	60~200mm

《複合防火設備CAS-1051の開口面積》

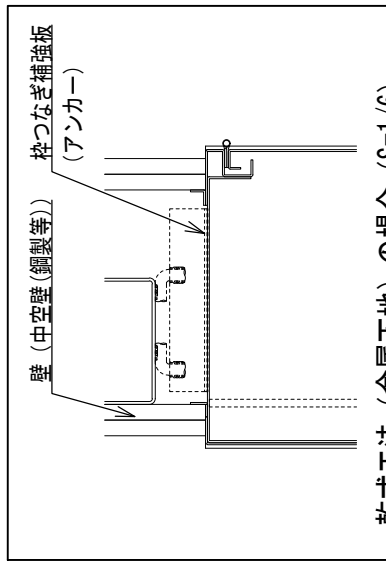
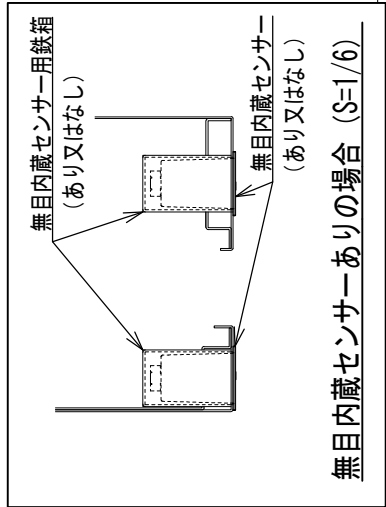
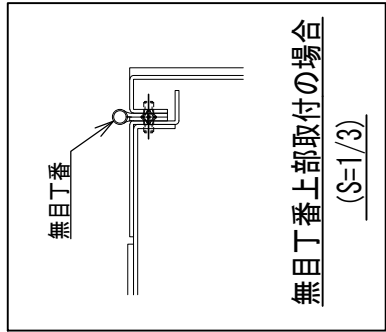
項 目	仕 様
開口面積 (W×H)	4.368注1) ~11.52m ²

注2) 最小Wと最小Hの面積では最小開口面積を下回るので注意

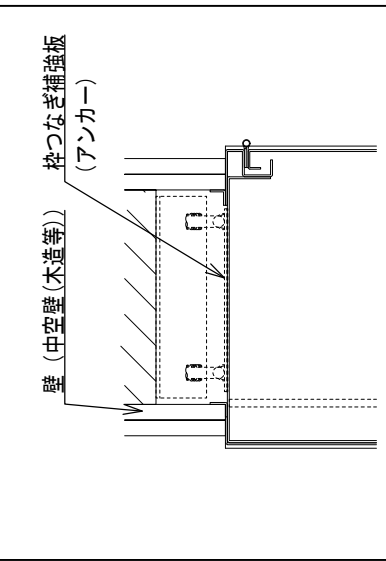
[illegible]

たて框 押縁形状の場合 (S=1/3)

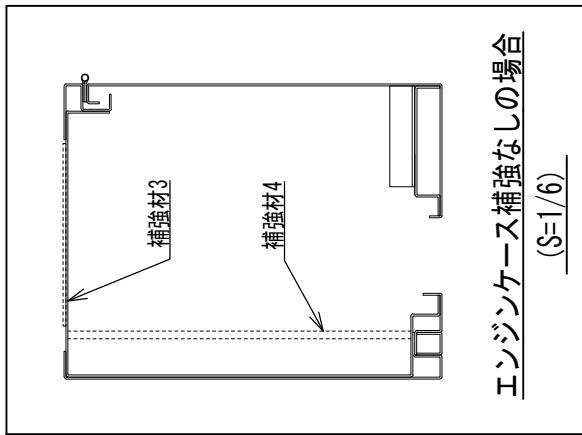
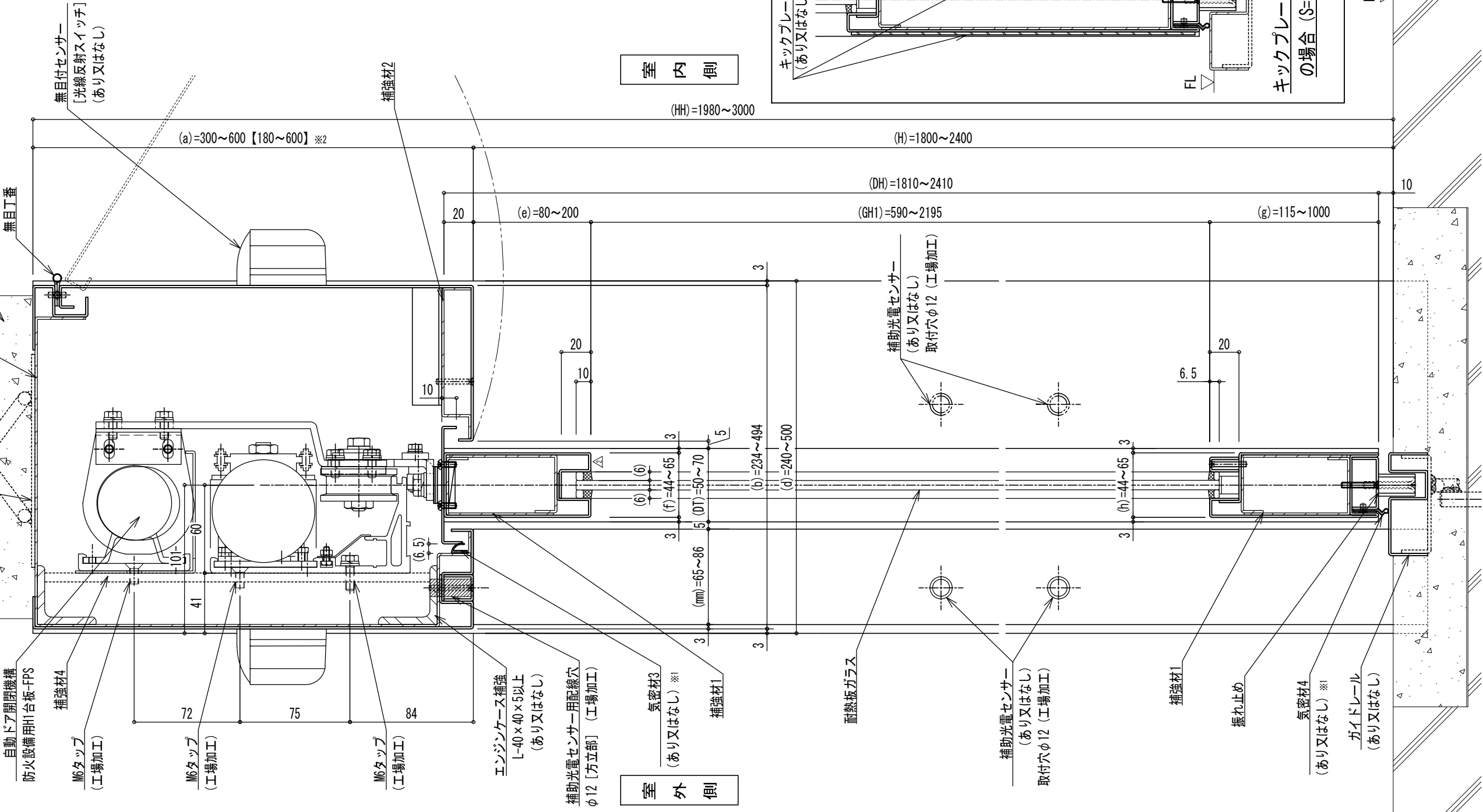
2018



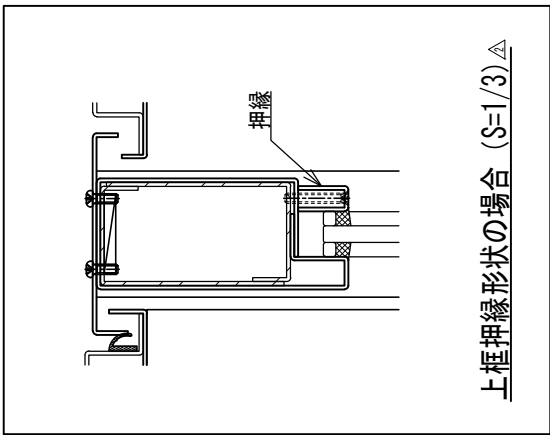
乾式工法（金属下地）の場合（S=1/6）



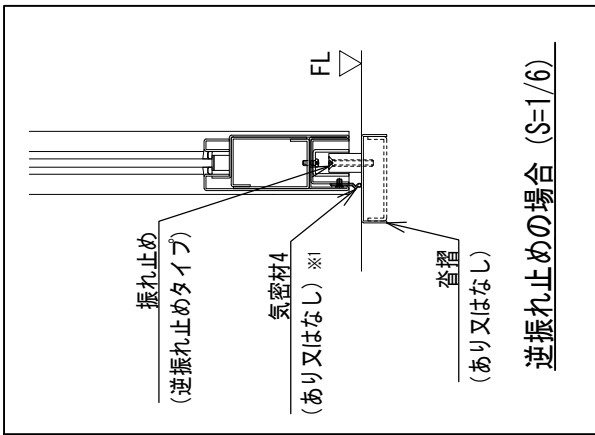
乾式工法（木下地）の場合（S=1/6）



エンジンケース補強なしの場合（S=1/6）



上框押縁形状の場合（S=1/3）



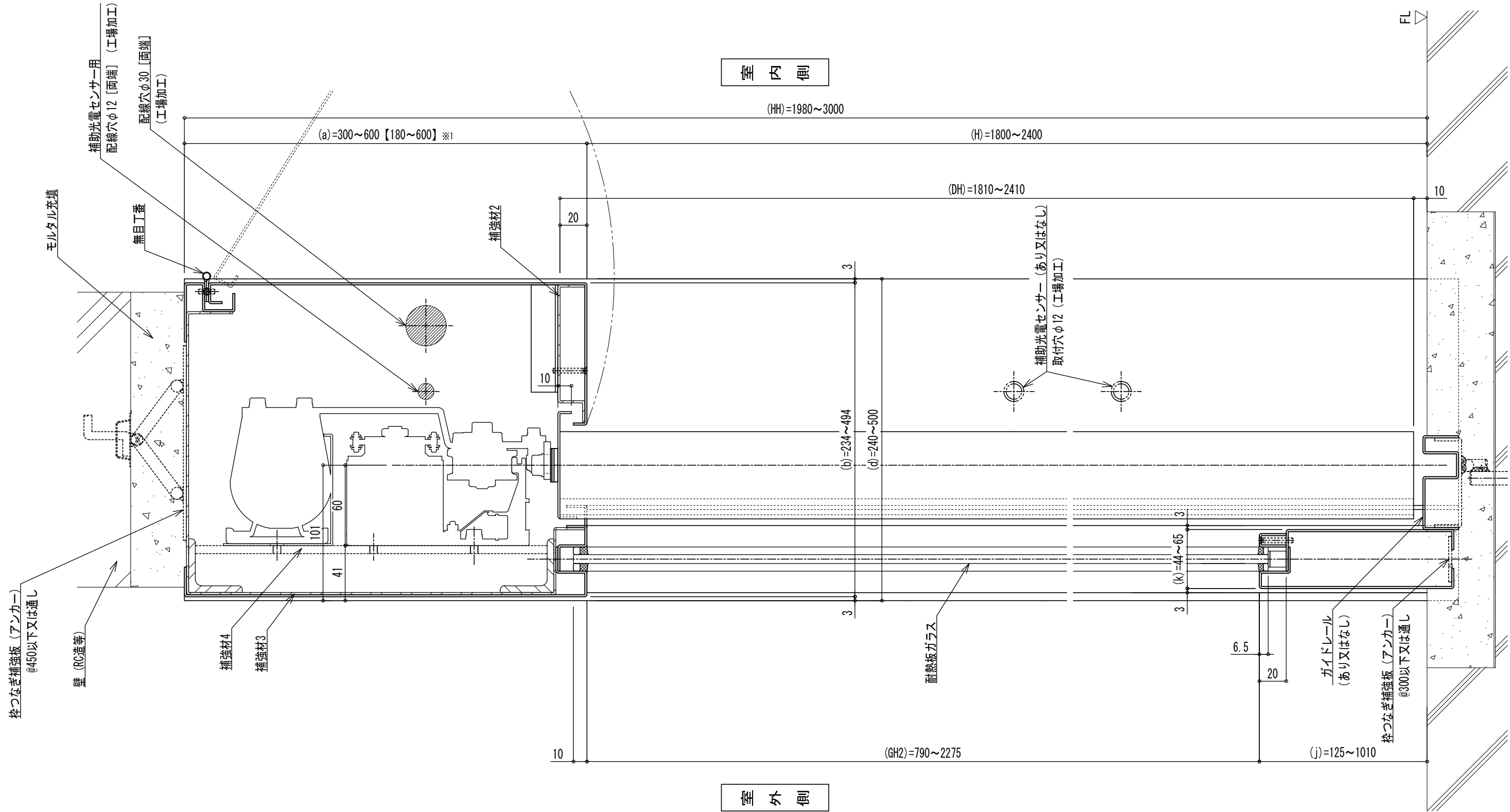
逆振れ止めの場合（S=1/6）

符号	年月日	担当	訂正事項
△	19.5.21	田代	誤記修正、追記
△	21.9.24	太田	立断面図の上框を押縁なしに変更、押縁形状の場合を追記
△	21.9.24	太田	キックプレート仕様追記を追記
△			
△			

品名	耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備CB-2052／複合防火設備CAS-1051
図名	立断面詳細図（開口部）

寺岡オートドア株式会社					作成日	2019.3.11	図番
承認	校閲	製図	設計	縮尺	出図日	2019.4.5	
和	和	田	田	A3 1/3	廃止日		3
					管理番号	06KH-56003	

- ※1 複合防火設備CAS-1051の場合は「あり」となる。
※2 1) 内の寸法は建築基準法上の「延焼の恐れのある部分」で外壁の開口部に設ける防火設備で自動閉鎖装置を必要としない場合の寸法とする。
※3 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によっては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小W寸法 参考納まり」を参照すること。△



※1 【J】内の寸法は建築基準法上の「延焼の恐れのある部分」で外壁の開口部に設ける防火設備で自動閉鎖装置を必要としない場合の寸法とする。

※2 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によっては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小寸法 参 考納まり」を参照すること。△

符号	年月日	担当	訂正事項	品名	寺岡オートア株式会社					作成日	2019.3.11	図番
△	19.5.21	田代	誤記修正、追記	耐火板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2052/複合防火設備CAS-1051	承認	検図	製図	設計	縮尺	出図日	2019.4.5	
△				図名	和	和	田	田	A3	廃止日		4
△				立断面詳細図 (袖部)	和	和	田	田	1/3	管理番号	06KH-56003	
△												
△												

寺岡オートドア株式会社 基本図

耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き戸 両袖壁

防火設備 EB-2057

複合防火設備 CAS-1047

《目 次》

図 名	図番	管理番号	作成日	出図日
表紙	表-1	06KH-56004 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
仕様書（防火設備EB-2057）	仕-1	06KH-56004 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
仕様書（複合防火設備CAS-1047）	仕-2	06KH-56004 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
姿図 平断面図 立断面図	1	06KH-56004 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
平断面詳細図	2	06KH-56004 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
立断面詳細図（開口部）	3	06KH-56004 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5
立断面詳細図（袖部）	4	06KH-56004 △	2019. 3. 11	2019. 4. 5

符号	年月日	担当	訂正事項	品名	寺岡オートドア株式会社					作成日	2019. 3. 11	図番
△	19. 5. 21	田代	誤記修正	耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖壁						出図日	2019. 4. 5	表-1
△				防火設備EB-2057／複合防火設備CAS-1047	承認	検図	製図	設計	縮尺	廃止日		
△				図名	和	田	太	田	A3	管理番号		
△				表紙	田	代	田	代	1/1	06KH-56004		△

仕様書

品名：耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き戸 両袖壁

種類：防火設備

認定番号： EB-2057

《各部の寸法》

項 目	寸法範囲
枠外幅 (WW)	2250～4850mm 注1)
枠内幅 (W)	2200～4800mm
開口幅 (WO)	1000～2400mm
枠外高さ (HH)	1980～3000mm
開口高さ (H)	1800～2400mm
扉幅 (DW)	558.5～1258.5mm
扉高さ (DH)	1810～2410mm
扉厚 (DT)	50～70mm
無目見付け (a)	300～600mm 180～600mm ※1
無目見込み (b)	234～494mm
たて枠見付け (c)	25～50mm 注1)
たて枠見込み (d)	237～500mm
扉上框見付け (e)	80～200mm
扉上框見込み (f)	44～65mm
扉下框見付け (g)	115～1000mm
扉下框見込み (h)	44～65mm
扉たて框見付け (i)	100～200mm
方立見付け (l)	60～200mm
方立見込み (m)	68～86mm
扉部窓幅 (GW1)	158.5～1058.5mm
扉部窓高さ (GH1)	590～2195mm

※1 建築基準法上の「延焼の恐れのある部分」で外壁の開口部に設ける防火設備で自動閉鎖装置を必要としない場合の寸法とする。

※2 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によっては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小W寸法 参考納まり」を参照すること。△

注1) 枠内幅 (W) が最大寸法でたて枠見付け (c) が25mm以上となると枠外幅 (WW) の最大寸法を超えてしまうので注意

《標準構成材料の仕様》 「仕様」にメーカー名記載の品は試験体で使用した品とし、申請仕様の範囲内の品であればメーカーは問わない

項 目	仕 様
表面材	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：1.5mm以上 [SUS304 SUS430 SUS430J1L SUS433J1 (参考：平成28年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節)]
表面仕上げ	ヘアーライン (HL)、鏡面、パイブレーション、ビーズブラスト、カラーステンレス (化学発色) △
補強材1 (方立、上框、たて框、下框) 補強材2 (点検カバー) 補強材3 (無目) 補強材5 (たて枠)	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1.6mm以上
補強材4 (自動ドア装置取付用FB)	一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) 寸法：6mm×50mm以上 間隔：600mm以下
塗装	さび止め塗装 材料：JPMS 28 箇所：補強材1～4、枠つなぎ補強板 (アンカー)、エンジンケース補強 膜厚：100μm以下 無目内塗装 材料：エポキシ樹脂 (JIS K 5531) 箇所：補強材3～4、エンジンケース補強 膜厚：100μm以下 △
枠つなぎ補強板 (アンカー)	材料：鋼板 (めっき処理品) 又は鋼材 厚さ：2.3mm以上 間隔：450mm以下 又は 通し
耐熱板ガラス	AGC㈱ マイボーク FR65C △ 厚さ：6.5mm
セッティングブロック	ステンレス鋼 幅：12mm 高さ：12mm 長さ：60mm クロロブレンゴム 幅12mm 厚さ1.5mm 長さ60mm 数量：各2個 (ガラス1枚あたり) [サッシ工場製作品]
バックアップ材	ハイランドMP㈱ フラットバックカーHP 寸法：先入れ用6×10mm 後入れ用8×5～15mm
シーリング材	防火戸用指定シーリング材 (参考：東レ㈱ SE5007、MPMJ合同会社 トスシール84)
無目丁番	材質：ステンレス鋼
振れ止め	㈱ワーム R25 (B) L寸法：25mm 数量：4個以下 ◎逆振れ止めも同品
ねじ	キックプレート固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 間隔：300mm以下押縁固定用 △ 押縁固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 間隔：300mm以下 点検カバー固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 無目丁番固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 振れ止め固定用 材質：ステンレス鋼又は鋼材 寸法：M5×35mm以上
自動ドア開閉機構	防火設備用自動ドア装置 台板：H1 自動閉鎖装置：FPS-II A 又は FPS-I -NDC 電気錠：EL-7SN2 ◎コントローラは鉄箱に実装のこと

《あり／なし選択可能な構成材料の仕様》 図面の注釈に (あり又はなし) と表記 / 「仕様」にメーカー名記載の品は試験体で使用した品とし、申請仕様の範囲内の品であればメーカーは問わない

項 目	仕 様
押縁 △	材料：冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 厚さ：1.5mm以上 ◎たて框と一体型の場合なし
ガイドレール 杵摺	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：1.5mm以上 [SUS304 SUS430 SUS430J1L SUS433J1 (参考：平成28年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節)]
エンジンケース補強	材料：鋼材 寸法：L-40×40×5mm以上
トロカパー	材料：鋼材 (めっき処理品) 厚さ：1.6mm以上
キックプレート △	材料：ステンレス鋼板 厚さ：1.5mm以上
無目内蔵センサー用鉄箱	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1.6mm以上
センサー／スイッチ	無目付センサー 無目内蔵センサー 数量：各2個以下 タッチスイッチ (付属両面テープ止め) 数量：4個以下 補助光電センサー 数量：4組以下 ◎補助光電センサーアンプは鉄箱に実装のこと
引手・取手	材質：ステンレス鋼 厚さ：0.5mm以上 数量：4個以下
本締錠	材料：ステンレス鋼板及び鋼板 数量：2個 箇所：下框
気密材1 (戸先部)	ホクショー㈱ HC-23 寸法：扉高さ (DH) ◎接着戸当ゴム (直径φ12以下) 2個以下で代用可
気密材2 (方立部)	ホクショー㈱ GV-4396 寸法：開口高さ (H) ◎専用気密材 (特注品)
気密材3 (上枠部)	ホクショー㈱ HC-3 寸法：開口幅 (WO)
気密材4 (扉下部)	ピンチブロック㈱ #38-PA 寸法：扉幅 (DW)

符号	年月日	担当	訂正事項	品名	寺岡オートドア株式会社				作成日	2019.3.11	図番
△	19.5.21	田代	誤記修正、追記	耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖壁 防火設備EB-2057／複合防火設備CAS-1047	承認	検図	製図	設計	縮尺	2019.4.5	仕-1
△	21.9.24	太田	追記		和	田	太	田	A3	廃止日	
△				図名					管理番号		
△				仕様書 (防火設備EB-2057)	和	田	太	田	1/1	06KH-56004	△
△											

仕様書

品名：耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き戸 両袖壁／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

種類：複合防火設備

認定番号：CAS-1047

《各部の寸法》

項 目	寸法範囲
枠外幅 (WW)	2250～4850mm 注2)
枠内幅 (W)	2200～4800mm
開口幅 (WO)	1219～2400mm 注1)
枠外高さ (HH)	1980～3000mm
開口高さ (H)	1800～2400mm
扉幅 (DW)	668～1258.5mm 注1)
扉高さ (DH)	1810～2410mm
扉厚 (DT)	50～70mm
無目見付け (a)	300～600mm
無目見込み (b)	234～494mm
たて枠見付け (c)	25～50mm 注2)
たて枠見込み (d)	237～500mm
扉上框見付け (e)	80～200mm
扉上框見込み (f)	44～65mm
扉下框見付け (g)	115～1000mm
扉下框見込み (h)	44～65mm
扉たて框見付け (i)	100～200mm
方立見付け (l)	60～200mm
方立見込み (m)	68～86mm
扉部窓幅 (GW1)	268～1058.5mm 注1)
扉部窓高さ (GH1)	590～2195mm

※1 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によっ

注1) 防火設備EB-2057と最小寸法が異なるので注意
注2) 枠内幅(W)が最大寸法でたて枠見付け(c)が25mm以上となると枠外幅(WW)の最大寸法を超えてしまうので注意

《開口面積》

項 目	仕 様
開口面積 (WO×H)	2.925注2) ～5.76㎡

注3) 最小WOと最小Hの面積では最小開口面積を下回るので注意

《自動閉鎖装置による閉鎖時の危害防止対策》

項 目	仕 様		
扉質量	150kg/枚以下	100kg/枚以下	50kg/枚以下
閉鎖速度	0.36m/s以下	0.44m/s以下	0.63m/s以下
閉鎖金物閉じ力設定値	117N以下		

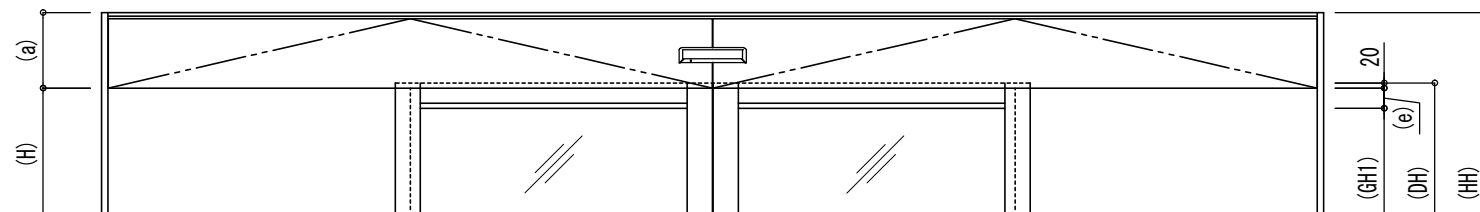
《標準構成材料の仕様》 「仕様」にメーカー名記載の品は試験体で使用した品とし、申請仕様の範囲内の品であればメーカーは問わない

項 目	仕 様
表面材	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：1.5mm以上 [SUS304 SUS430 SUS430J1L SUS433J1 （参考：平成28年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節）]
表面仕上げ	ヘアライン (HL)、鏡面、パイブレーション、ビーズブラスト、カラーステンレス（化学発色）△
補強材1（方立、上框、たて框、下框） 補強材2（点検カバー） 補強材3（無目） 補強材5（たて枠）	溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302） 板厚：1.6mm以上
補強材4（自動ドア装置取付用FB）	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101） 寸法：6mm×50mm以上 間隔：600mm以下
塗装	さび止め塗装 材料：JPMS 28 箇所：補強材1～4、枠つなぎ補強板（アンカー）、エンジンケース補強 膜厚：100μm以下 無目内塗装 材料：エポキシ樹脂（JIS K 5531） 箇所：補強材3～4、エンジンケース補強 膜厚：100μm以下 △
枠つなぎ補強板（アンカー）	材料：鋼板（めっき処理品）又は鋼材 厚さ：2.3mm以上 間隔：無目、たて枠450mm以下 又は 通し 幅木300mm以下 又は 通し
耐熱板ガラス	AGC㈱ マイボーク FR65C△ 厚さ：6.5mm
セッティングブロック	ステンレス鋼 幅：12mm 高さ：12mm 長さ：60mm クロロプレンゴム 幅12mm 厚さ1.5mm 長さ60mm 数量：各2個（ガラス1枚あたり）[サッシ工場製作品]
バックアップ材	ハイランドMP㈱ フラットバックカーHP 寸法：先入れ用6×10mm 後入れ用8×5～15mm
シーリング材	防火戸用指定シーリング材（参考：東レ㈱ SE5007、MPMJ合同会社 トスシール84）
無目丁番	材質：ステンレス鋼
振れ止め	㈱ワーム R25 (B) L寸法：25mm 数量：4個以下 ◎逆振れ止めも同品
ねじ	キックプレート固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 間隔：300mm以下押縁固定用 △ 押縁固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 間隔：300mm以下 点検カバー固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 無目丁番固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 振れ止め固定用 材質：ステンレス鋼又は鋼材 寸法：M5×35mm以上
気密材1（戸先部）	ホクショー㈱ HC-23 寸法：扉高さ(DH)
気密材2（方立部）	ホクショー㈱ GV-4396 寸法：開口高さ(H) ◎専用気密材（特注品）
気密材3（上枠部）	ホクショー㈱ HC-3 寸法：開口幅(WO)
気密材4（扉下部）	ピンチブロック㈱ #38-PA 寸法：扉幅(DW)
自動ドア開閉機構	防火設備用自動ドア装置 台板：H1 自動閉鎖装置：FPS-II A 又は FPS-I -NDC 電気錠：EL-7SN2 ◎コントローラは鉄箱に実装のこと

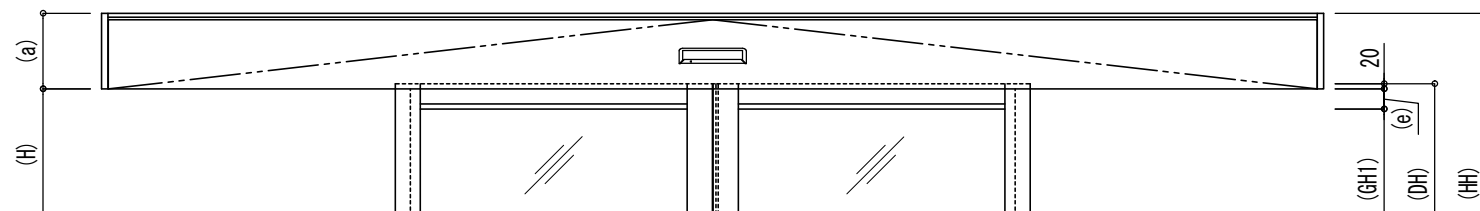
《あり／なし選択可能な構成材料の仕様》 図面の注釈に（あり又はなし）と表記

項 目	仕 様
押縁 △	材料：冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 厚さ：1.5mm以上 ◎たて框と一体型の場合なし
ガイドレール 杵摺	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：1.5mm以上 [SUS304 SUS430 SUS430J1L SUS433J1 （参考：平成28年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節）]
エンジンケース補強	材料：鋼材 寸法：L-40×40×5mm以上
トロカパー	材料：鋼材（めっき処理品） 厚さ：1.6mm以上
キックプレート △	材料：ステンレス鋼板 厚さ：1.5mm以上
無目内蔵センサー用鉄箱	溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302） 板厚：1.6mm以上
センサー／スイッチ	無目付センサー 無目内蔵センサー 数量：各2個以下 タッチスイッチ（付属両面テープ止め） 数量：4個以下 補助光電センサー 数量：4組以下 ◎補助光電センサーアンプは鉄箱に実装のこと
引手・取手	材質：ステンレス鋼 厚さ：0.5mm以上 数量：4個以下
本締錠	材料：ステンレス鋼板及び鋼板 数量：2個 箇所：下框

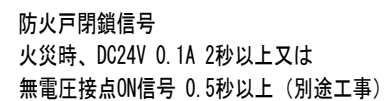
符号	年月日	担当	訂正事項	品名	寺岡オートドア株式会社				作成日	2019.3.11	図番
△	19.5.21	田代	誤記修正、追記	耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖壁 防火設備EB-2057／複合防火設備CAS-1047					出図日	2019.4.5	仕-2
△	21.9.24	太田	追記						廃止日		
△				図名	和	和	田	田	縮尺	A3	管理番号 06KH-56004
△				仕様書（複合防火設備CAS-1047）	田	田	代	代	1/1		
△											△



点検カバ-2分割形状

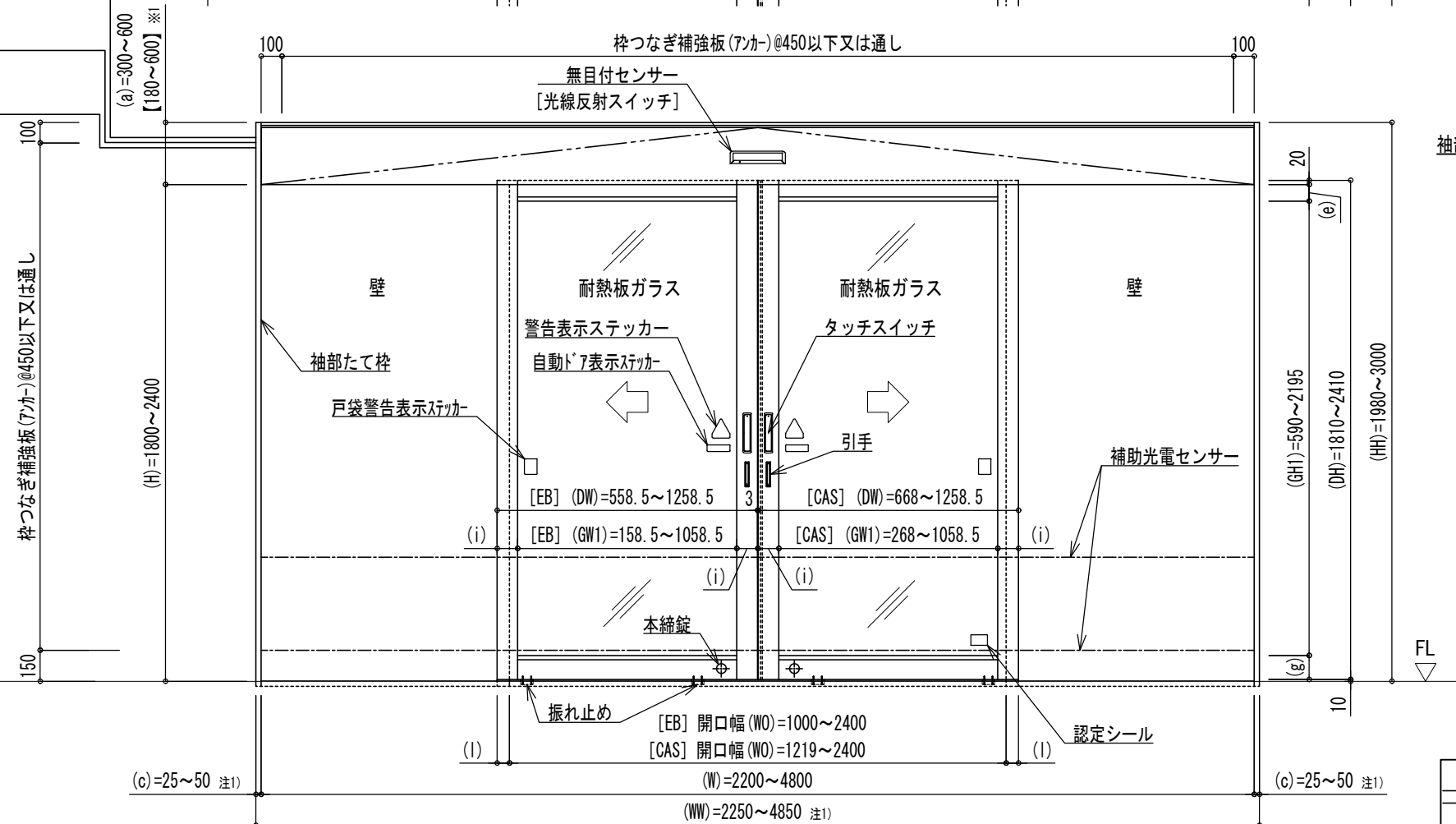


袖部たて枠なし形状



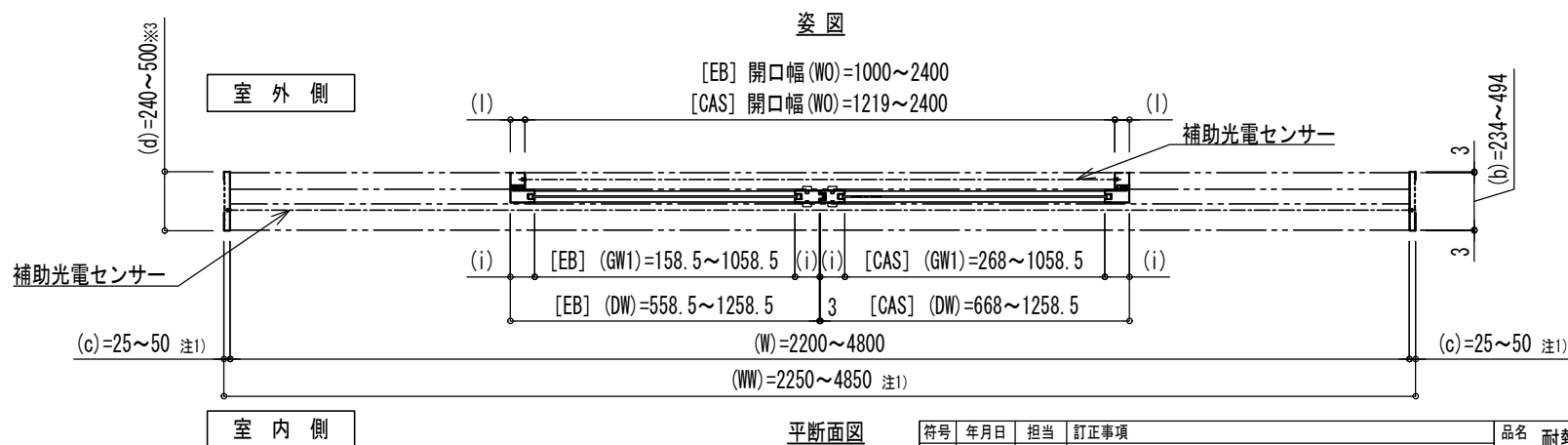
自動閉鎖装置用電源
AC100V 1A (別途工事) ※2

自動ドア用電源 AC100V 5A
D種接地線含む（別途工事）



袖部たて杵あり形状

室内側姿図ヲ示ス

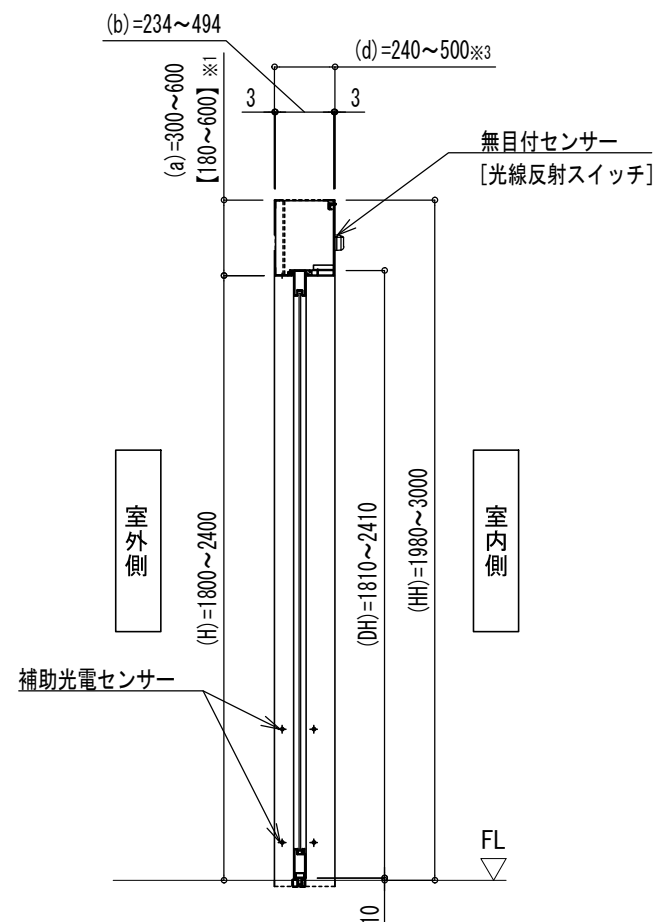


平断面图

符号	年月日	担当	訂正事項
△	19.5.21	田代	誤記修正、追記
△			
△			
△			
△			

品名	耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖壁 防火設備EB-2057／複合防火設備CAS-1047
----	---

姿図 平断面図 立断面図



立断面図

《各部の寸法》

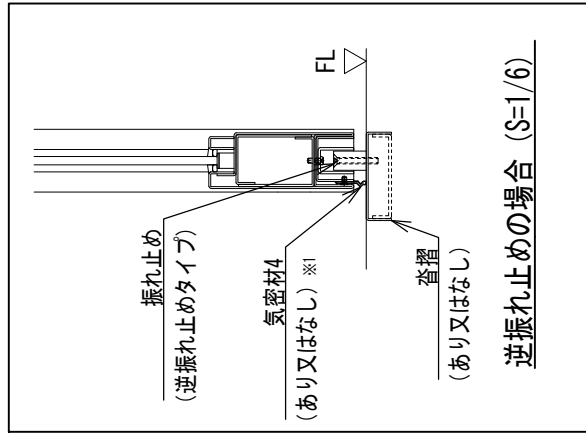
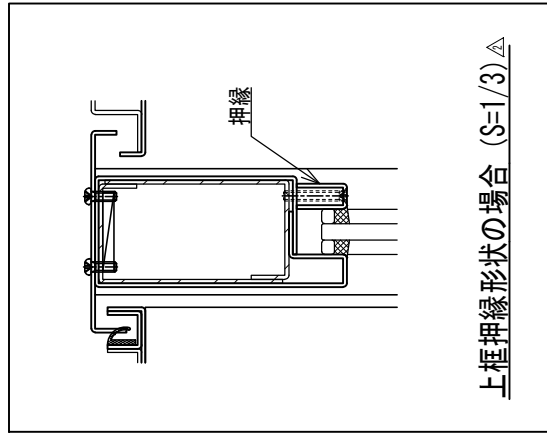
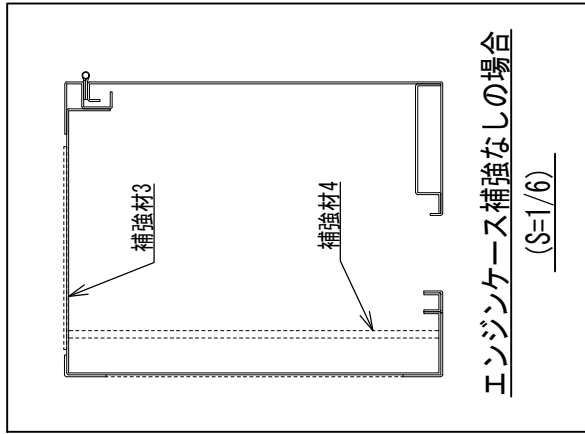
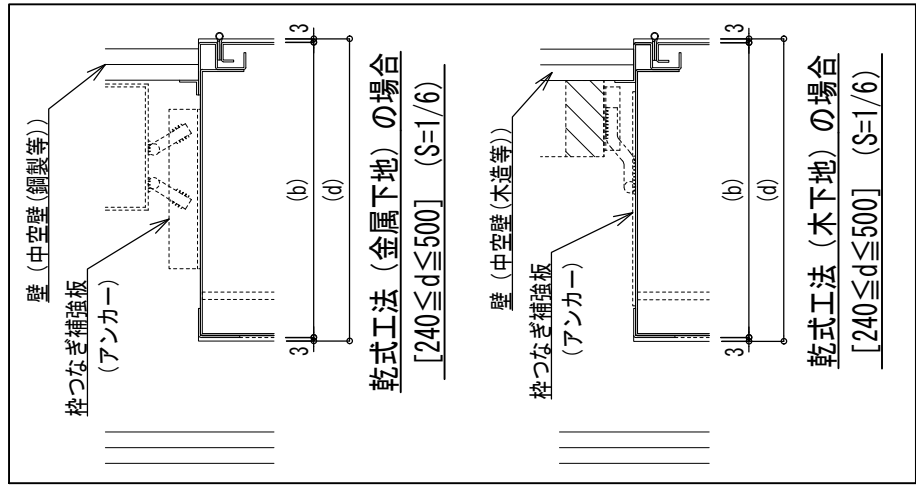
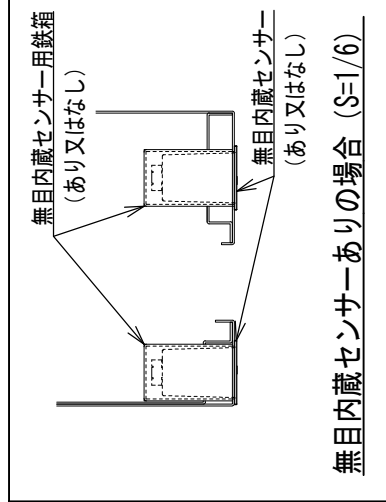
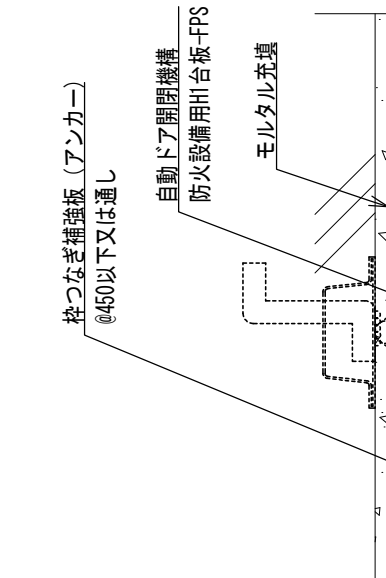
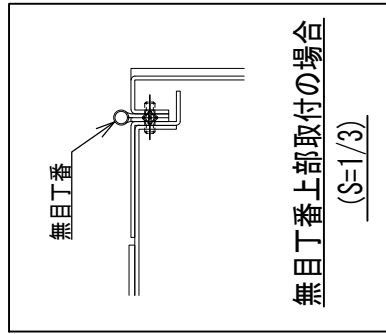
項 目	寸法範囲
扉上框見付け (e)	80~200mm
扉下框見付け (g)	115~1000mm
扉たて框見付け (i)	100~200mm
方立見付け (l)	60~200mm

《複合防火設備CAS-1047の開口面積》

項 目	仕 様
開口面積 (W×H)	2.925 ^{注1)} ~ 5.76 ^{m²}

注2) 最小W0と最小Hの面積では最小開口面積を下回るので注意

寺岡オトナ株式会社				作成日	2019.3.11	図番 1
				出図日	2019.4.5	
承認	校閲	製図	設計	縮尺	廃止日	
和 田	田 代	太 田	田 代	A3 1/30	管理番号 06KH-56004	

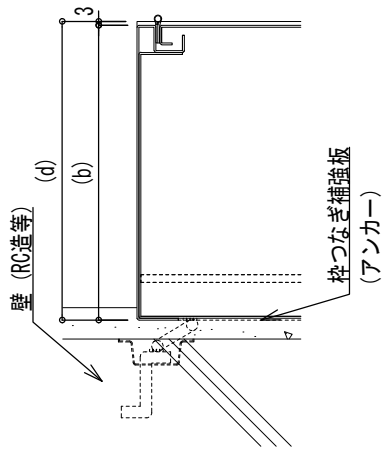
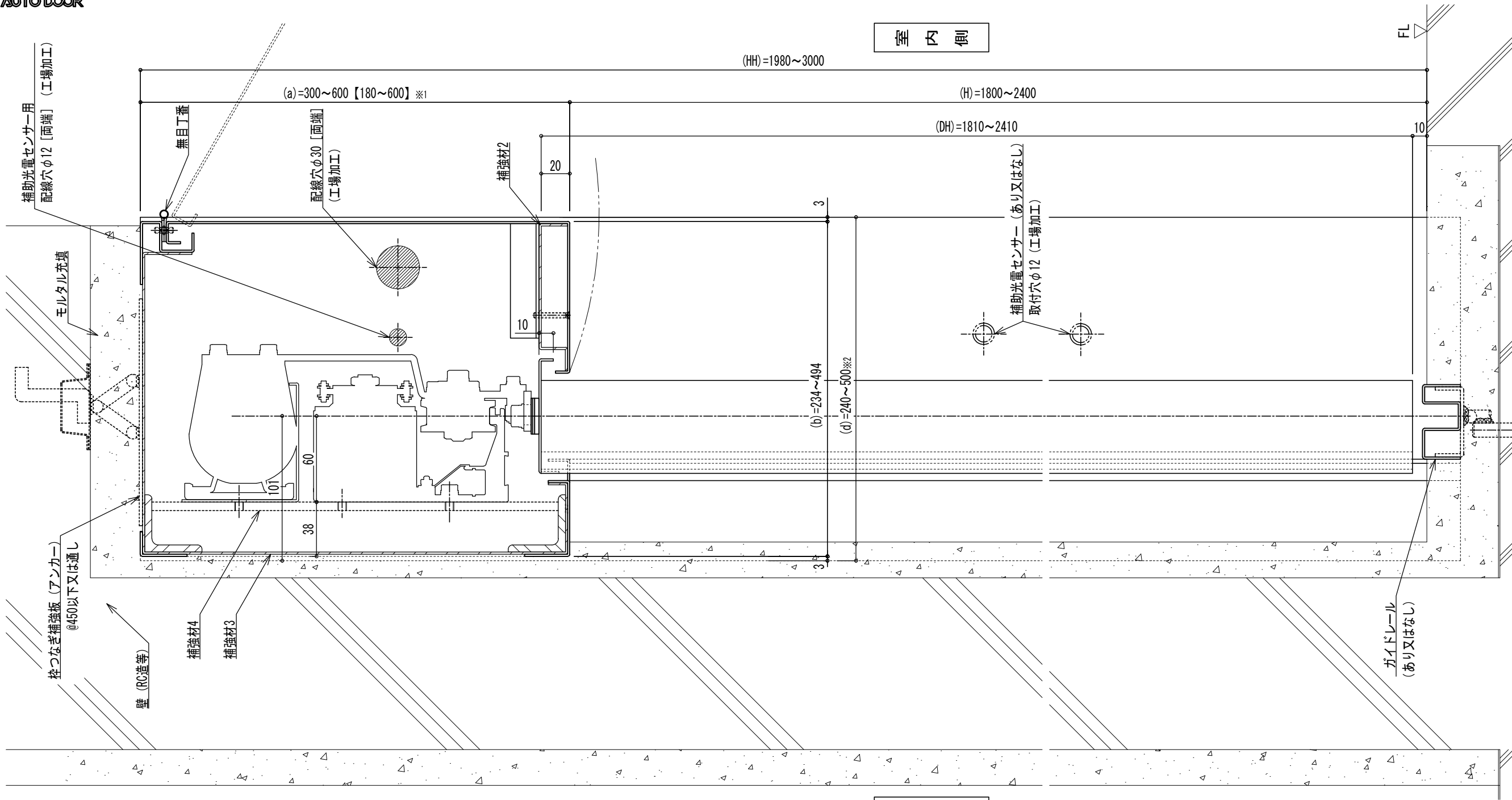


- ※1 複合防火設備S-1047の場合は「あり」となる。
※2 1 内の寸法は建築基準法上の「延焼の恐れのある部分」で外壁の開口部に設ける防火設備で自動閉鎖装置を必要としな
い場合の寸法とする。
※3 壁付納まりの場合は「(d)=247~500」とする。
※4 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によっては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小W寸法 参考納まり」を参照すること。△

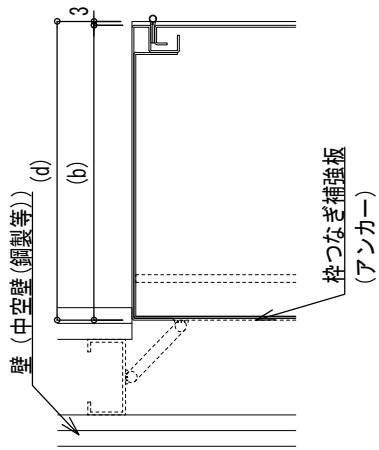
符号	年月日	担当	訂正事項
△	19.5.21	田代	誤記修正、追記
△	21.9.24	太田	立断面図の上框を押縁なしに変更、押縁形状の場合を追記
△	21.9.24	太田	キックプレート仕様追記を追記
△			
△			

品名	耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖壁 防火設備CB-2057/複合防火設備CAS-1047
図名	立断面詳細図 (開口部)

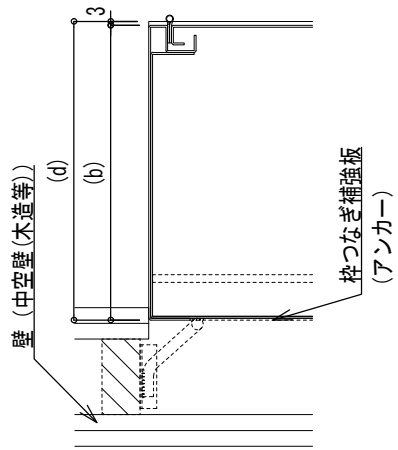
寺岡オートドア株式会社					作成日	2019.3.11	図番
承認	校閲	製図	設計	縮尺	出図日	2019.4.5	
和	田	太	田	A3	廃止日		3
田	代	田	代	1/3	管理番号	06KH-56004	



湿式工法 壁付納まりの場合
[237 ≤ d ≤ 500] (S=1/6)



乾式工法 (金属下地) 壁付納まりの場合
[237 ≤ d ≤ 500] (S=1/6)



乾式工法 (木下地) 壁付納まりの場合
[237 ≤ d ≤ 500] (S=1/6)

室 外 側

室 内 側

符号	年月日	担当	訂正事項
△	19. 5. 21	田代	誤記修正、追記
△			
△			
△			

品名	耐熱板ガラス入ステンレス鋼製両引き 両袖壁 防火設備CB-2057／複合防火設備CAS-1047
図名	立断面詳細図 (袖部)

寺岡オートア株式会社					作成日	2019. 3. 11	図番
承認	校図	製図	設計	縮尺	出図日	2019. 4. 5	
和	田	太	田	A3	廃止日		4
田	代	田	代	1/3	管理番号	06KH-56004	

- ※1 【】内の寸法は建築基準法上の「延焼の恐れのある部分」で外壁の開口部に設ける防火設備で自動閉鎖装置を必要としない場合の寸法とする。
※2 壁付納まりの場合は「(d)=247~500」とする。
※3 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によっては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小寸法 参考納まり」を参照すること。△

寺岡オートドア株式会社

基本図

耐熱板ガラス入鋼製両引き戸

両袖窓付き

防火設備 EB-2993

複合防火設備 CAS-1135

《目 次》

図 名	図番	管理番号	作成日	出図日
表紙	表-1	06KH-58004	2020. 9. 23	2021. 6. 24
仕様書（防火設備EB-2993）	仕-1	06KH-58004	2020. 9. 23	2021. 6. 24
仕様書（複合防火設備CAS-1135）	仕-2	06KH-58004	2020. 9. 23	2021. 6. 24
姿図 平断面図 立断面図	1	06KH-58004	2020. 9. 23	2021. 6. 24
平断面詳細図	2	06KH-58004	2020. 9. 23	2021. 6. 24
立断面詳細図（開口部）	3	06KH-58004	2020. 9. 23	2021. 6. 24
立断面詳細図（袖部）	4	06KH-58004	2020. 9. 23	2021. 6. 24

符号	年月日	担当	訂正事項	品名	寺岡オートドア株式会社					作成日	2020. 9. 23	図番
△				耐熱板ガラス入鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2993／複合防火設備CAS-1135	承認	検図	製図	設計	縮尺	出図日	2021. 6. 24	表-1
△										廃止日		
△				図名						管理番号		
△				表紙	田代	田代	清水	清水	A3	06KH-58004		
△					1/1							

仕様書

品名：耐熱板ガラス入鋼製両引き戸 両袖窓付き
種類：防火設備
認定番号：EB-2993

《各部の寸法》

項 目	寸法範囲
枠外幅 (WW)	2250～4850mm 注1)
枠内幅 (W)	2200～4800mm
開口幅 (WO)	1000～2400mm
枠外高さ (HH)	1980～3000mm
開口高さ (H)	1800～2400mm
扉幅 (DW)	558. 5～1258. 5mm
扉高さ (DH)	1810～2410mm
扉厚 (DT)	50～70mm
無目見付け (a)	300～600mm 180～600mm ※1
無目見込み (b)	234～494mm
たて枠見付け (c)	25～50mm 注1)
たて枠見込み (d)	240～500mm
扉上框見付け (e)	80～200mm
扉下框見付け (g)	115～1000mm
扉たて框見付け (i)	100～200mm
幅木見付け (j)	125～1010mm
幅木見込み (k)	50～65mm
方立見付け (l)	60～200mm
方立見込み (m)	71～86mm
扉部窓幅 (GW1)	158. 5～1058. 5mm
扉部窓高さ (GH1)	590～2195mm
袖部窓幅 (GW2)	400～1140mm
袖部窓高さ (GH2)	790～2275mm

※1 建築基準法上の「延焼の恐れのある部分」で外壁の開口部に設ける防火設備で自動閉鎖装置を必要としない場合の寸法とする。
※2 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によつては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小W寸法 参考納まり」を参照すること。

注1) 枠内幅 (W) が最大寸法でたて枠見付け (c) が25mm以上となると枠外幅 (WW) の最大寸法を超えてしまうので注意すること。
注2) 塗料の塗布量は0. 3kg/m²以下とすること。
注3) 気密材3を設ける場合はステンレス鋼板とすること。

《標準構成材料の仕様》 「仕様」にメーカー名記載の品は試験体で使用した品とし、申請仕様の範囲内の品であればメーカーは問わない

項 目	仕 様
表面材	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1. 6mm以上
表面仕上げ	さび止め塗装仕上げ 又は 焼付塗装 注2)
補強材1 (上框、たて框、下框、方立)	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：2. 3mm以上
補強材2 (方立、上框、たて框、下框、幅木)	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1. 6mm以上
補強材3 (点検カバー)	
補強材4 (無目)	
補強材5 (自動ドア装置取付用FB)	一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) 寸法：6mm×50mm以上 間隔：600mm以下
補強材6 (たて框)	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1. 6mm以上
戸先塞ぎ材	材質：ステンレス鋼板 (塗装品含む) 厚さ：1. 5mm以上
扉上部煙返し	材質：ステンレス鋼板 (塗装品含む) 厚さ：1. 5mm以上 又は 鋼板 (めっき処理品、塗装品含む) 厚さ：1. 6mm以上 注3)
ガイドレール	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：床面埋没の場合 1. 5mm以上、扉部内蔵の場合 2. 0mm以上 [SUS304 SUS430J1L SUS433J1 (参考：平成31年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節)]
熱膨張耐火材	積水化学工業㈱ フィブロック エポキシ 片面粘着付 厚さ：1. 6mm 寸法：(1)袖窓部 9×GH2+40以上 (2)上枠内部 9×WO以上 (3)戸先部 9×DH
塗装	さび止め塗装 材料：JPMS 28 箇所：表面材、補強材3、枠つなぎ補強板 (アンカー) 塗布量：0. 3kg/m ² 以下 補強材4～5、エンジンケース補強、点検カバー (裏面) 塗布量：0. 1kg/m ² 以下 無目内塗装 材料：トリプルプライマー (JIS K 5531) 箇所：補強材4～5、エンジンケース補強 塗布量：0. 08kg/m ² 以下
枠つなぎ補強板 (アンカー)	材料：鋼板 (めっき処理品) 又は鋼材 厚さ：2. 3mm以上 間隔：無目、たて枠450mm以下 又は 通し 幅木300mm以下 又は 通し
耐熱板ガラス	AGC㈱ マイボーク FR65C 厚さ：6. 5mm
セッティングブロック	ステンレス鋼 幅：12mm 高さ：12mm 長さ：60mm クロロプレンゴム 幅12mm 厚さ1. 5mm 長さ60mm 数量：各2個 (ガラス1枚あたり) [サッシ工場製作品]
バックアップ材	ハイランドMP㈱ フラットバックカーHP 寸法：先入れ用6×10mm 後入れ用8×5～15mm
シーリング材	防火戸用指定シーリング材 (参考：東レ㈱ SE5007、MPMJ合同会社 トスシール84)
無目丁番	材質：ステンレス鋼
振れ止め	㈱ワーム R25 (B) L寸法：25mm 数量：4 個以下 ◎逆振れ止めも同品
ねじ	キックプレート固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 間隔：300mm以下 押縁固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 間隔：300mm以下 点検カバー固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 無目丁番固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 振れ止め固定用 材質：ステンレス鋼又は鋼材 寸法：4. 5×35mm以上 (下地材に達する長さ) 補強材2 (戸先) 固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×20mm以上 間隔：500mm以下
自動ドア開閉機構	防火設備用自動ドア装置 台板：H1 自動閉鎖装置：FPS-ⅡA 又は FPS-Ⅰ-NDC 電気錠：EL-7SN2 ◎コントローラは鉄箱に実装のこと

《あり／なし選択可能な構成材料の仕様》 図面の注釈に (あり又はなし) と表記 / 「仕様」にメーカー名記載の品は試験体で使用した品とし、申請仕様の範囲内の品であればメーカーは問わない

項 目	仕 様
押縁	材料：溶融亜鉛めっき鋼板 JIS G 3302 厚さ：1. 6mm以上 ◎框と一体型の場合、たて枠と上框のみなし
沓摺	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：1. 5mm以上 [SUS304 SUS430J1L SUS433J1 (参考：平成31年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節)]
エンジンケース補強	材料：鋼材 寸法：L-40×40×5mm以上
トロカパー	材料：鋼材 (めっき処理品) 厚さ：1. 6mm以上
キックプレート	材料：ステンレス鋼板 厚さ：1. 5mm以上
無目内蔵センサー用鉄箱	溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1. 6mm以上
センサー／スイッチ	無目付センサー 無目内蔵センサー 数量：各4 個以下 タッチスイッチ (付属両面テープ止め) 数量：4 個以下 補助光電センサー 数量：4組以下 ◎補助光電センサーアンプは鉄箱に実装のこと
引手・取手	材質：ステンレス鋼 厚さ：0. 5mm以上 数量：4 個以下
本締錠	材料：ステンレス鋼板及び鋼板 数量：2 個 箇所：下框
気密材1 (戸先部)	ホクシヨー㈱ HC-23 寸法：扉高さ (DH) ◎接着戸当ゴム (直径φ12以下) 2 個以下で代用可
気密材2 (方立部)	ホクシヨー㈱ GV-4396 寸法：開口高さ (H) ◎専用気密材 (特注品)
気密材3 (上枠部)	ホクシヨー㈱ HC-3 寸法：開口幅 (WO)
気密材4 (扉下部)	ピンチブロック㈱ #38-PA 寸法：扉幅 (DW)

符号 年月日 担当 訂正事項				品名 耐熱板ガラス入鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2993／複合防火設備CAS-1135	寺岡オートドア株式会社					作成日	2020. 9. 23	図番 仕-1	
					承認	検図	製図	設計	縮尺	出図日	2021. 6. 24		
				図名 仕様書 (防火設備EB-2993)	田代	田代	清水	清水	A3 1/1	管理番号 06KH-58004			

仕様書

品名：耐熱板ガラス入鋼製両引き戸

両袖窓付き／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

種類：複合防火設備

認定番号：CAS-1135

《各部の寸法》

項 目	寸法範囲
枠外幅 (WW)	2250～4850mm 注1)
枠内幅 (W)	2200～4800mm
開口幅 (WO)	1000～2400mm
枠外高さ (HH)	1980～3000mm
開口高さ (H)	1800～2400mm
扉幅 (DW)	558. 5～1258. 5mm
扉高さ (DH)	1810～2410mm
扉厚 (DT)	50～70mm
無目見付け (a)	300～600mm
無目見込み (b)	234～494mm
たて枠見付け (c)	25～50mm 注1)
たて枠見込み (d)	240～500mm
扉上框見付け (e)	80～200mm
扉下框見付け (g)	115～1000mm
扉たて框見付け (i)	100～200mm
幅木見付け (j)	125～1010mm
幅木見込み (k)	50～65mm
方立見付け (l)	60～200mm
方立見込み (m)	71～86mm
扉部窓幅 (GW1)	158. 5～1058. 5mm
扉部窓高さ (GH1)	590～2195mm
袖部窓幅 (GW2)	400～1140mm
袖部窓高さ (GH2)	790～2275mm

※1 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によつては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小W寸法 参考納まり」を参照すること。

注1) 枠内幅 (W) が最大寸法でたて枠見付け (c) が25mm以上となると枠外幅 (WW) の最大寸法を超えてしまうので注意すること。
注2) 塗料の塗布量は0. 3kg/㎡以下とすること。
注3) 気密材3を設ける場合はステンレス鋼板とすること。

《自動閉鎖装置による閉鎖時の危害防止対策》

項 目	仕 様		
扉質量	140kg/枚以下	100kg/枚以下	50kg/枚以下
閉鎖速度	0. 37m/s以下	0. 44m/s以下	0. 63m/s以下
閉鎖金物閉じ力設定値	117N以下		

《標準構成材料の仕様》 「仕様」にメーカー名記載の品は試験体で使用した品とし、申請仕様の範囲内の品であればメーカーは問わない

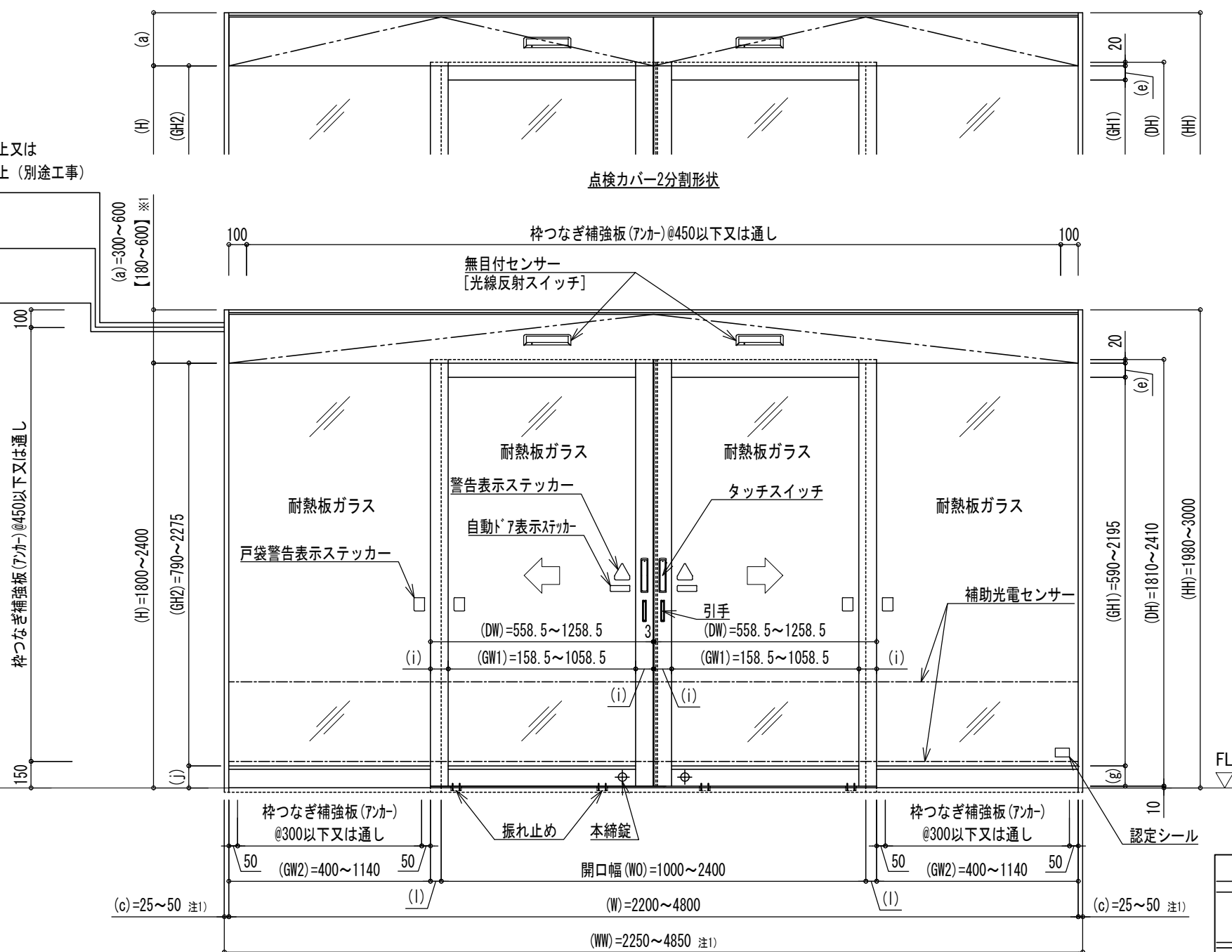
項 目	仕 様
表面材	熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1. 6mm以上
表面仕上げ	さび止め塗装仕上げ 又は 焼付塗装 注2)
補強材1 (上框、たて框、下框、方立)	熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：2. 3mm以上
補強材2 (方立、上框、たて框、下框、幅木)	熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1. 6mm以上
補強材3 (点検カバー)	
補強材4 (無目)	
補強材5 (自動ドア装置取付用FB)	一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) 寸法：6mm×50mm以上 間隔：600mm以下
補強材6 (たて框)	熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1. 6mm以上
戸先塞ぎ材	材質：ステンレス鋼板 (塗装品含む) 厚さ：1. 5mm以上
扉上部煙返し	材質：ステンレス鋼板 (塗装品含む) 厚さ：1. 5mm以上 又は 鋼板 (めっき処理品、塗装品含む) 厚さ：1. 6mm以上 注3)
ガイドレール	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：床面埋没の場合 1. 5mm以上、扉部内蔵の場合 2. 0mm以上 [SUS304 SUS430J1L SUS433J1 (参考：平成31年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節)]
熱膨張耐火材	積水化学工業㈱ フィブロック エポキシ 片面粘着付 厚さ：1. 6mm 寸法：(1)袖窓部 9×GH2+40以上 (2)上枠内部 9×W0以上 (3)戸先部 9×DH
塗装	さび止め塗装 材料：JPMS 28 箇所：表面材、補強材3、枠つなぎ補強板 (アンカー) 塗布量：0. 3kg/㎡以下 補強材4～5、エンジンケース補強、点検カバー (裏面) 塗布量：0. 1kg/㎡以下 無目内塗装 材料：ニトロセルラック (JIS K 5531) 箇所：補強材4～5、エンジンケース補強 塗布量：0. 08kg/㎡以下
枠つなぎ補強板 (アンカー)	材料：鋼板 (めっき処理品) 又は鋼材 厚さ：2. 3mm以上 間隔：無目、たて枠450mm以下 又は 通し 幅木300mm以下 又は 通し
耐熱板ガラス	AGC㈱ マイボカー FR65C 厚さ：6. 5mm
セッティングブロック	ステンレス鋼 幅：12mm 高さ：12mm 長さ：60mm クロロブレンゴム 幅12mm 厚さ1. 5mm 長さ60mm 数量：各2個 (ガラス1枚あたり) [サッシ工場製作品]
バックアップ材	ハイランドMP㈱ フラットバックカーHP 寸法：先入れ用6×10mm 後入れ用8×5～15mm
シーリング材	防火戸用指定シーリング材 (参考：東レ㈱ SE5007、MPMJ合同会社 トスシール84)
無目丁番	材質：ステンレス鋼
振れ止め	㈱ワーム R25 (B) L寸法：25mm 数量：4個以下 ◎逆振れ止めも同品
ねじ	キックプレート固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 間隔：300mm以下 押縁固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 間隔：300mm以下 点検カバー固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×30mm以上 無目丁番固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×10mm以上 振れ止め固定用 材質：ステンレス鋼又は鋼材 寸法：4. 5×35mm以上 (下地材に達する長さ) 補強材2 (戸先) 固定用 材質：ステンレス鋼 寸法：M4×20mm以上 間隔：500mm以下
気密材1 (戸先部)	ホクショー㈱ HC-23 寸法：扉高さ (DH)
気密材2 (方立部)	ホクショー㈱ GV-4396 寸法：開口高さ (H) ◎専用気密材 (特注品)
気密材3 (上枠部)	ホクショー㈱ HC-3 寸法：開口幅 (WO)
気密材4 (扉下部)	ピンチブロック㈱ #38-PA 寸法：扉幅 (DW)
自動ドア開閉機構	防火設備用自動ドア装置 台板：H1 自動閉鎖装置：FPS-ⅡA 又は FPS-Ⅰ-NDC 電気錠：EL-7SN2 ◎コントローラは鉄箱に実装のこと

《あり／なし選択可能な構成材料の仕様》 図面の注釈に (あり又はなし) と表記

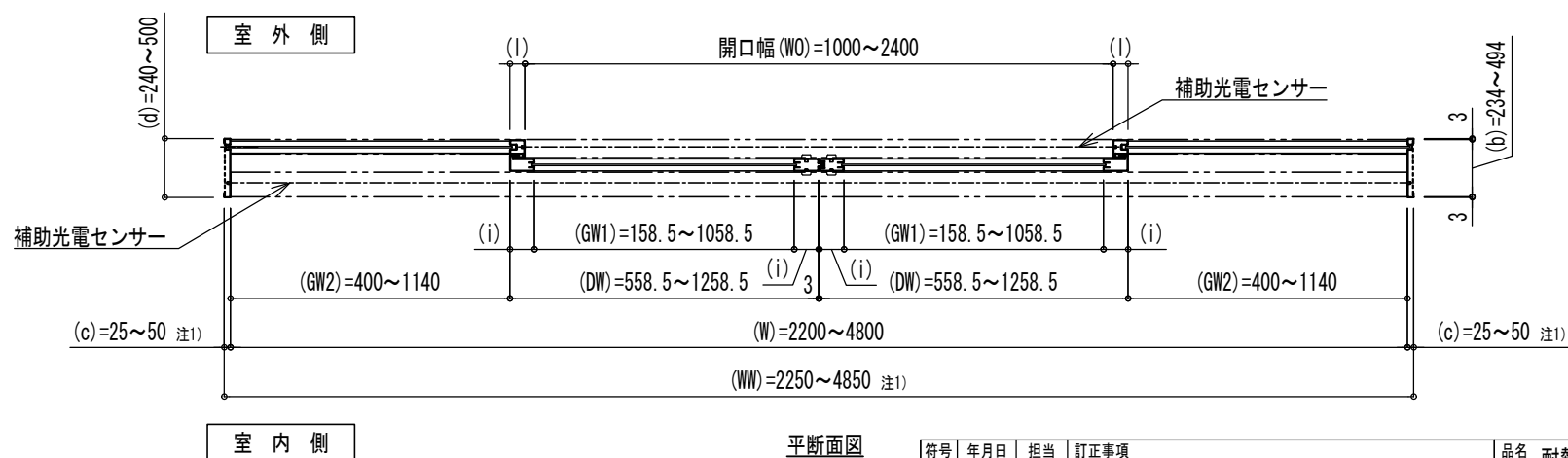
項 目	仕 様
押縁	材料：熔融亜鉛めっき鋼板 JIS G 3302 厚さ：1. 6mm以上 ◎框と一体型の場合、たて枠と上框のみなし
杓摺	冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305 板厚：1. 5mm以上 [SUS304 SUS430J1L SUS433J1 (参考：平成31年度版公共建築工事標準仕様書 建築工事編 16章6節)]
エンジンケース補強	材料：鋼材 寸法：L-40×40×5mm以上
トロカバー	材料：鋼材 (めっき処理品) 厚さ：1. 6mm以上
キックプレート	材料：ステンレス鋼板 厚さ：1. 5mm以上
無目内蔵センサー用鉄箱	熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 板厚：1. 6mm以上
センサー／スイッチ	無目付センサー 無目内蔵センサー 数量：各4個以下 タッチスイッチ (付属両面テープ止め) 数量：4個以下 補助光電センサー 数量：4組以下 ◎補助光電センサーアンプは鉄箱に実装のこと
引手・取手	材質：ステンレス鋼 厚さ：0. 5mm以上 数量：4個以下
本締錠	材料：ステンレス鋼板及び鋼板 数量：2個 箇所：下框

符号	年月日	担当	訂正事項	品名	寺岡オートドア株式会社					作成日	2020. 9. 23	図番
△				耐熱板ガラス入鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2993／複合防火設備CAS-1135	承認	検図	製図	設計	縮尺	出図日	2021. 6. 24	仕-2
△					田代	田代	清水	清水	A3 1/1	廃止日		
△				図名	仕様書 (複合防火設備CAS-1135)					管理番号 06KH-58004		
△												
△												

電源スイッチ
(別途工事)



姿 図



平断面图

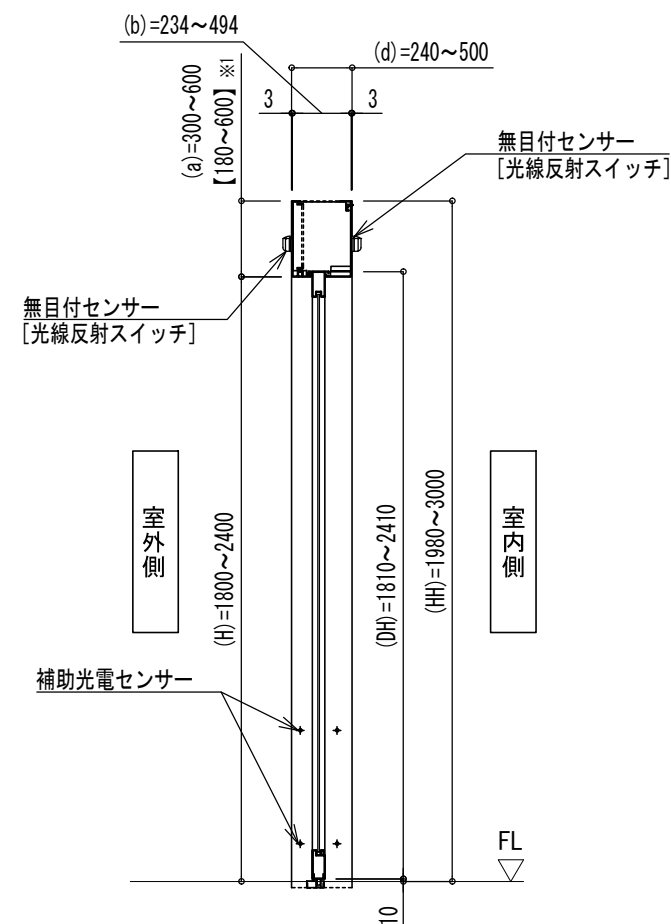
符号	年月日	担当	訂正事項
△			
△			
△			
△			
△			

品名	耐熱板ガラス入鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2993／複合防火設備CAS-1135
----	--

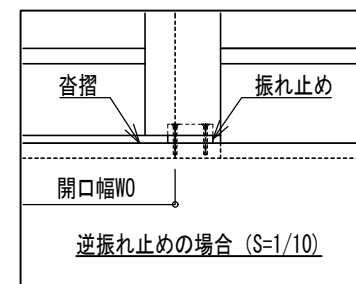
姿図 平断面図 立断面図

- ※1 【】内の寸法は建築基準法上の「延焼の恐れのある部分」で外壁の開口部に設ける防火設備で自動閉鎖装置を必要としない場合の寸法とする。
- ※2 当該電源の電気配線は他の電気回路に接続しないもので、かつ、配電盤又は分電盤の階別主開閉器の電源側で分岐しているものとする。
(昭和48年建告第2563号)
- ※3 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によっては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小寸法」を参照すること。

注1) 枠内幅(W)が最大寸法でたて枠見付け(c)が25mm以上となると枠外幅(WW)の最大寸法を超えてしまうので注意すること。



立断面図



《各部の寸法》

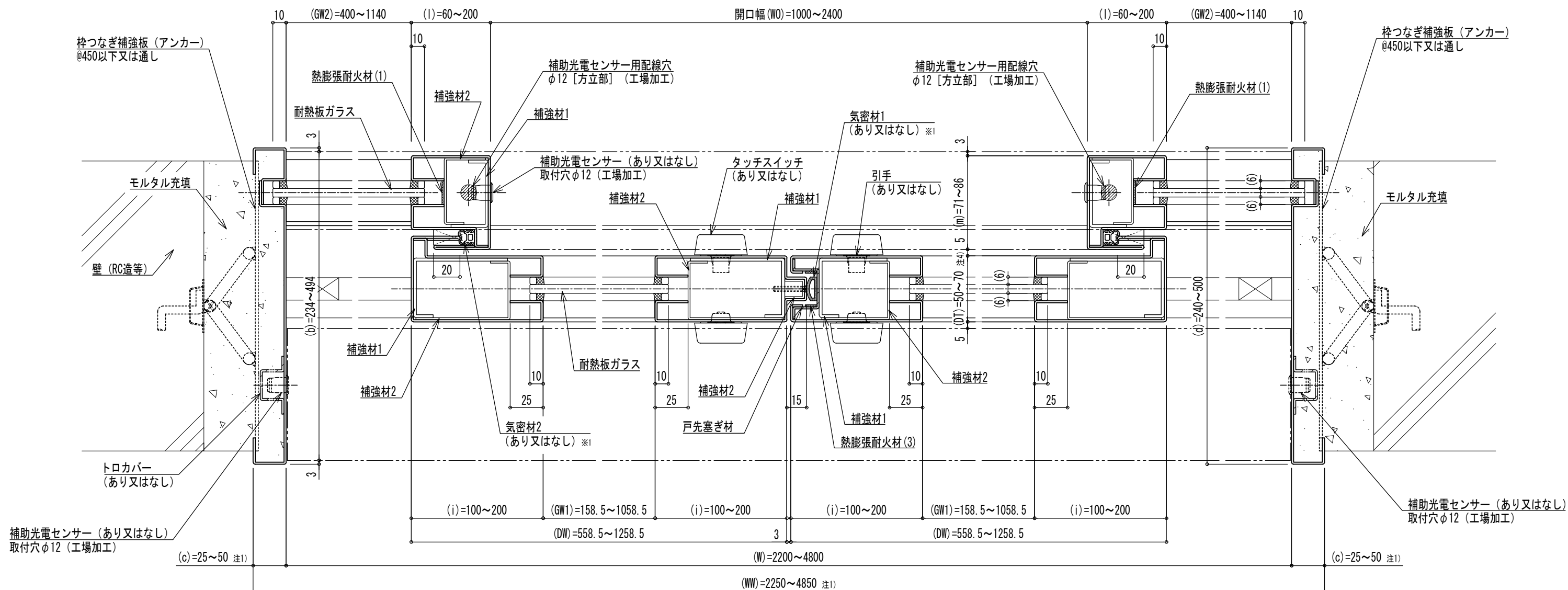
項 目	寸法範囲
扉上框見付け (e)	80~200mm
扉下框見付け (g)	115~1000mm
扉たて框見付け (i)	100~200mm
幅木見付け (j)	125~1010mm
方立見付け (l)	60~200mm

寺岡オクト株式会社					作成日	2020.9.23	図番 1
					出図日	2021.6.24	
承認	校閲	製図	設計	縮尺	廃止日		
田代	田代	清水	清水	A3 1/30	管理番号		06KH-58004

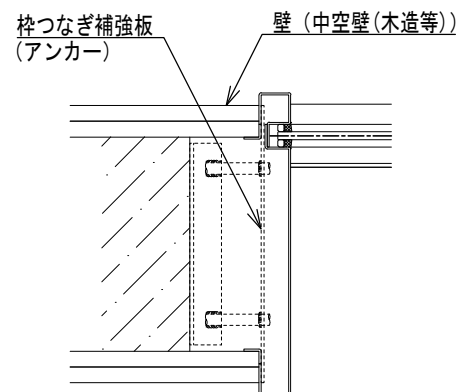
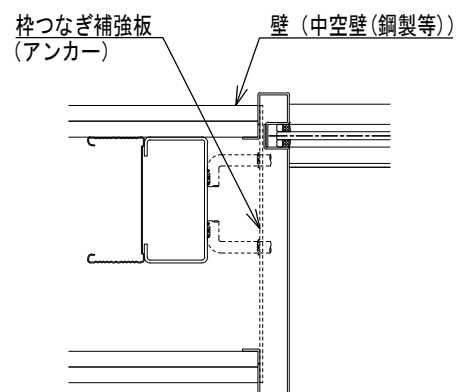
たて框 押縁形状の場合 (S=1/3)

注1) 枠内幅(W)が最大寸法でたて枠見付け(c)が25mm以上となると枠外幅(WW)の最大寸法を超えてしまうので注意すること。

注4) 扉を面落ち構造とする場合、上下枠の最小見込寸法は50mmとすること。

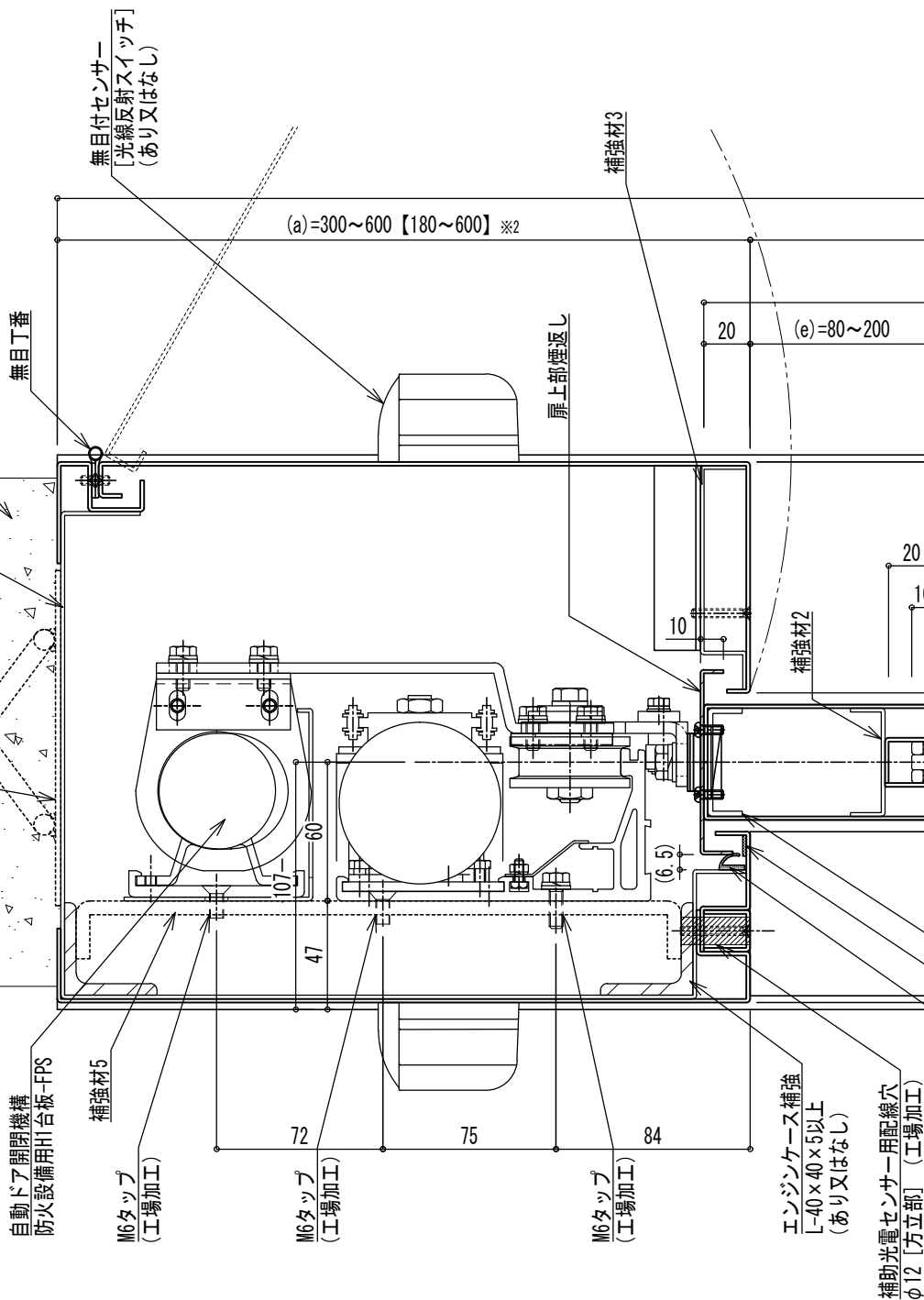
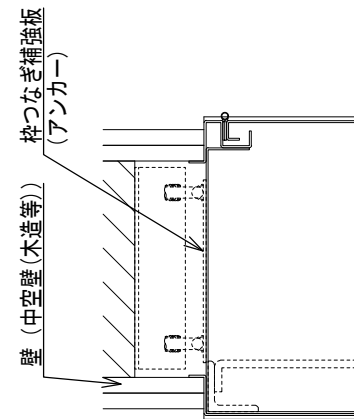
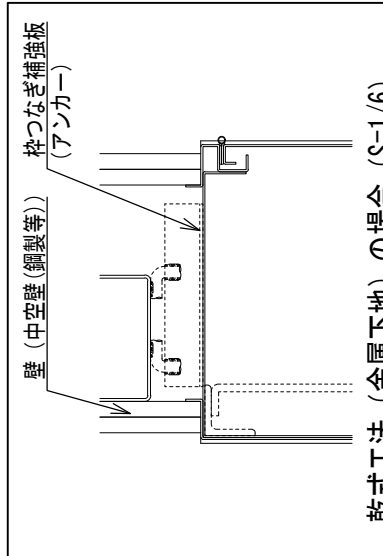


乾式工法（木下地）の場合（ $S=1/6$ ）

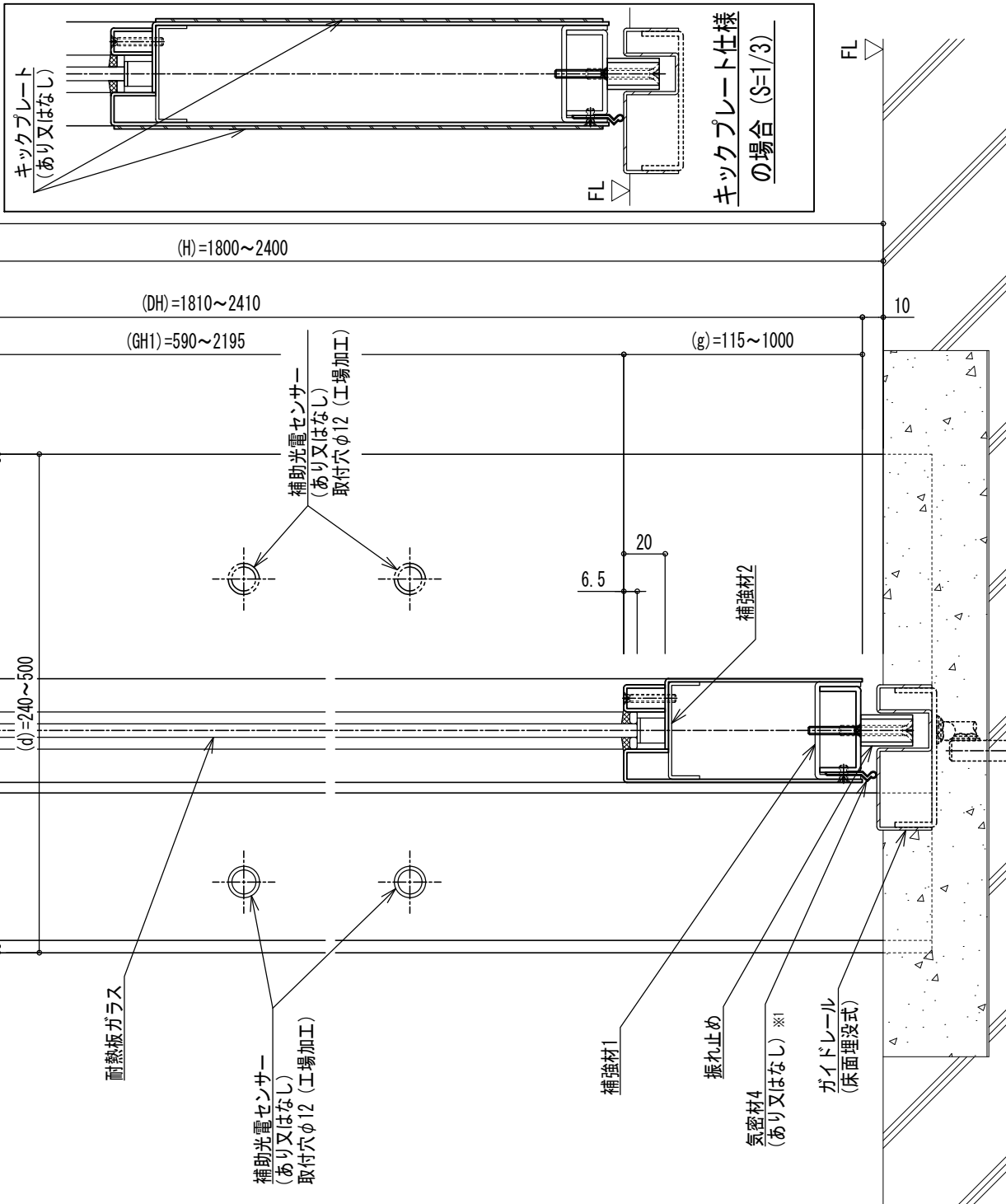
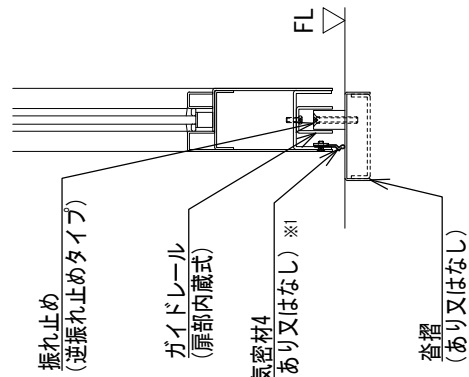
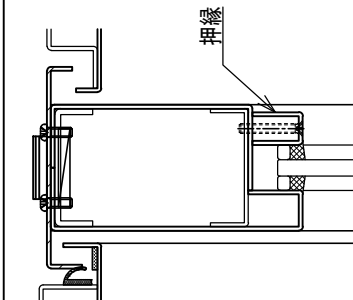


たて框 パターン例 (S=1/3)

符号	年月日	担当	訂正事項	品名	耐熱板ガラス入鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2993／複合防火設備CAS-1135					寺岡オートドア株式会社					作成日	2020.9.23	図番 2
△				図名						承認	検出	製図	設計	縮尺	出図日	2021.6.24	
△										田代	田代	清水	清水	A3	廃止日		
△															管理番号		
△					平断面詳細図										06KH-58004		



室 内 側



※1 複合防火設備(QS-13S)の場合は「あり」となる。

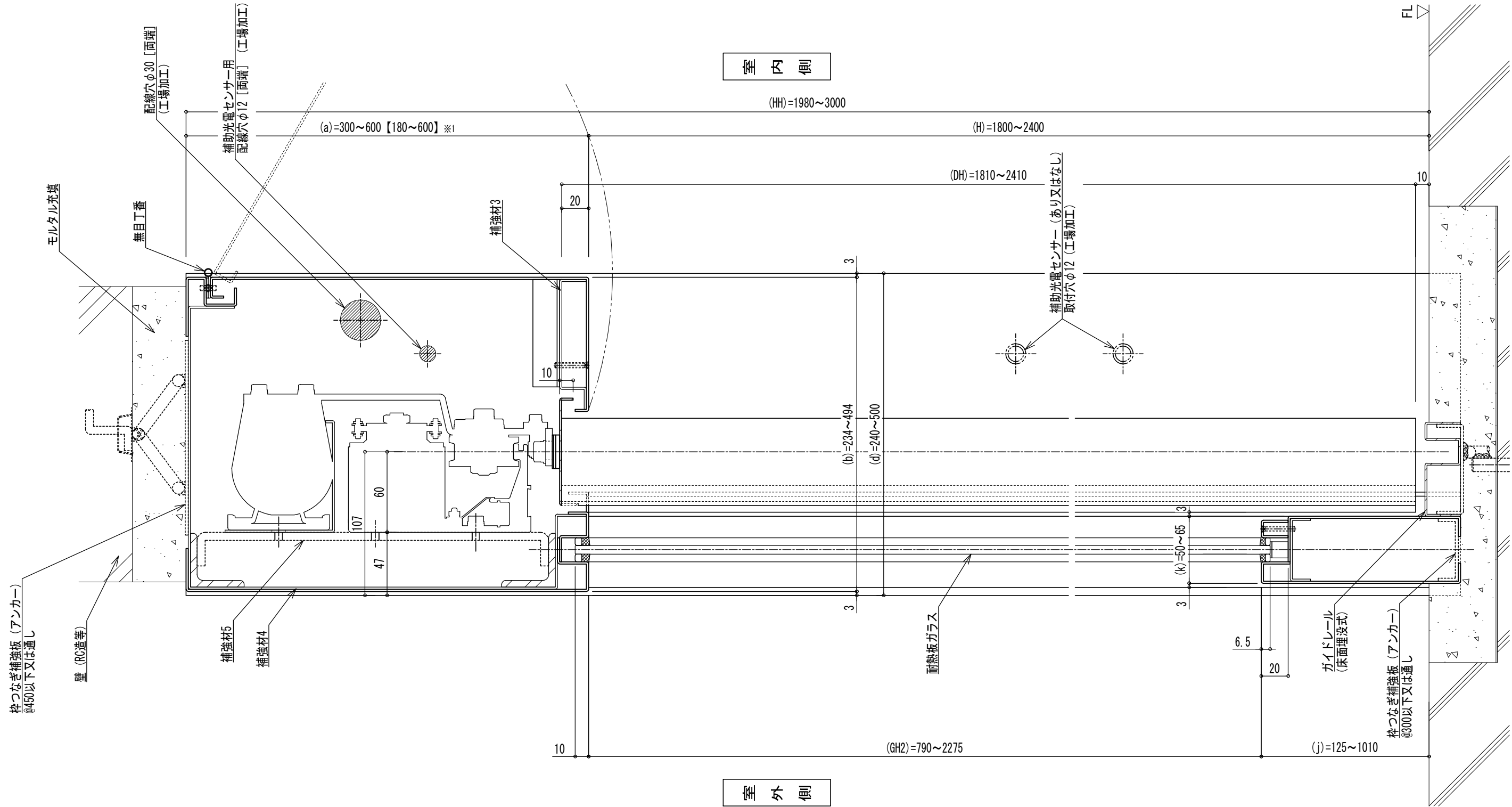
※2 ①内寸法は標準基準法上の「正味の寸法」である。
自動閉鎖装置で必要としない設備とすることで、
当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記述して
おり、機器の構成によっては製作可能な寸法が異
なるため、別図の「割付図・機器配置図 最小W
寸法 参考値」を参照すること。

※3 ④扉を面差を構造とする場合、上下框の最小見込寸
法は50mmとすること。

符号	年月日	担当	訂正事項
①			
②			
③			
④			
⑤			

品名	耐熱板ガラス入鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2993／複合防火設備CAS-1135
図名	立断面詳細図（開口部）

寺岡才一工業株式会社				作成日	2020.9.23
				出図日	2021.6.24
承認	検図	製図	設計	縮尺	廃止日
田代	田代	清水	清水	A3 1/3	管理番号 06KH-58004



※1 【1】 内の寸法は建築基準法上の「延焼の恐れのある部分」で外壁の開口部に設ける防火設備で自動閉鎖装置を必要としない場合の寸法とする。

※2 当図面の各部の寸法は申請の寸法仕様を記しており、機器の構成によっては製作可能寸法が異なるため、別図の「割付図/機器配置図 最小寸法 参 考納まり」を参照すること。

符号	年月日	担当	訂正事項	品名	寺岡オートア株式会社					作成日	2020.9.23	図番 4
△				耐熱板ガラス入鋼製両引き 両袖窓付き 防火設備EB-2993／複合防火設備CAS-1135	承認	校閲	製図	設計	縮尺	出図日	2021.6.24	
△					図名	田代	田代	清水	清水	A3	廃止日	
△				立断面詳細図（袖部）						管理番号	06KH-58004	